

滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 京都市 大阪市 堺市 神戸市 実施

# 「児童虐待防止テレビCMに関する効果測定調査」 報告書

2012年1月

調査概要	p. 2
調査結果のまとめ	p. 3
調査結果	p. 4
1 CMの認知度	p. 5
2 CMを見た場所	p. 6
3 CMの印象	p. 7
4 CMの影響による意識・行動の変化<自由回答>	p. 9
5-1 CMの影響による意識・行動の変化<選択肢回答>	p. 10
5-2 CMの影響による意識・行動の変化<選択肢回答> CM認知者ベース	p. 12
6 通告時の懸念・不安	p. 14
7 通告先の電話番号	p. 15
8 オレンジリボン(運動)の認知度	p. 16
9 新聞広告の認知度	p. 17
10 新聞広告の印象	p. 18
11 児童虐待防止キャンペーンを見た／聞いた場所	p. 19
12 行政が取り組むべき課題	p. 20
13 自分たちが取り組むべき課題	p. 22
14 通告義務の認知度	p. 23
15 児童虐待に関する関心度	p. 24
16 子育てについての悩みの相談先	p. 25
17 近隣との関わり方	p. 27
回答者のプロフィール	p. 28

# 調査概要

- 調査目的 児童虐待防止のためのテレビCMについて、その効果を測定・把握することを目的とする。
- 調査方法 インターネット調査  
(マクロミル保有のアンケート会員から、調査対象者を抽出して配信)
- 調査地域 近畿6府県4政令市
- 調査対象 20歳～69歳の男女
- 有効回答数 3,100サンプル  
内訳は以下のとおり

	男性					女性				
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代
大阪府(大阪市・堺市除く)	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
大阪市	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
堺市	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
京都府(京都市除く)	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
京都市	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
兵庫県(神戸市除く)	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
神戸市	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
奈良県	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
滋賀県	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
和歌山県	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31

- 調査時期 2011年11月21日(月)～11月27日(日)
- 実施機関 株式会社電通関西支社 ・ 株式会社マクロミル

# 調査結果のまとめ

## 【CMの評価】

- CM認知率（「A「見えにくい」篇、B「虐待シグナル」篇いずれか認知）は84.2%と非常に高く、「両方とも見たことがある」も55.6%と半数を越えている。ABいずれの認知率も約7割で、昨年度大阪府が実施した調査結果よりBの認知率が上昇した。CM出稿量に対する認知の効率は、かなり良いと言える。
- CMの印象は、ABともに半数以上に「痛々しい」、「かわいそう」と感じられているが、その結果、行動の喚起につながる「子どもを助けたい」という印象も半数近くに持たれている。

## 【CMの影響】

- 半数以上が「児童虐待に気づいたら通告したいと思う気持ちが強くなった」（52.4%）。「児童虐待が起こっていないか、気をつけて周囲を見たい」（39.8%）、「児童虐待が社会的に重要な問題であることに気づいた」（32.8%）、「児童虐待のシグナル（兆し）がどのようなことかわかった」（32.7%）という意識が昨年度に比べ高くなった。
- 「児童虐待に気づいたら通告したいと思う気持ち」は、「両方とも見たことがない」人では40.7%だが、「ABいずれか認知」者では54.6%と差があり、テレビCMが「通告したいと思う気持ち」を喚起するのに効果を上げたと言える。
- 「児童虐待に関心がある」は全体で72.9%となっているが、CM認知者で76.1%、CM非認知者では56.0%と約20ポイントの差があり、CM認知により児童虐待への関心が高まっている。

## 【その他キャンペーンの認知】

- 「オレンジリボン運動」を何らかのレベルで知っている人は41.0%であり、昨年度大阪府実施調査25.7%に比べ上昇している。
- 新聞広告の認知度は15.0%。新聞広告の印象は、テレビCM以上に「痛々しい」（67.9%）と思われ、「子どもを助けたい」（32.9%）はテレビCMに比べ低い。
- テレビCMや新聞広告以外では、「駅のポスター」（13.6%）、「自治体の広報誌」（9.2%）などで知られている。

## 【今後の課題】

- 通告時の懸念・不安として「間違いで相手に迷惑をかけないか心配」（54.2%）、「通告しても、虐待が解決されるのかどうか心配」（50.5%）が半数を超える。
- 通告先の電話番号を「もっと短い番号にして欲しい」という要望が40.8%と、昨年度（45.0%）よりは減少するも依然高い。
- 通告義務についても、「義務であることを知っていた」人は29.3%と低く、今後も認知を促進する必要があると思われる。
- 行政が取り組むべき課題としては、「児童相談所の権限をもっと強くすべき」（67.5%）や「児童相談所以外にも、身近に相談できる場所をもっと作るべき」（47.5%）と思われる。
- 子育てについての悩みの相談先としては、「児童相談所」（37.5%）や「市区町村の児童相談担当課」（32.3%）への相談意向よりも、「家族」（87.5%）や「知人・友人」（79.3%）、「学校」（50.0%）、「保育所・幼稚園」（48.2%）が高くなっている。



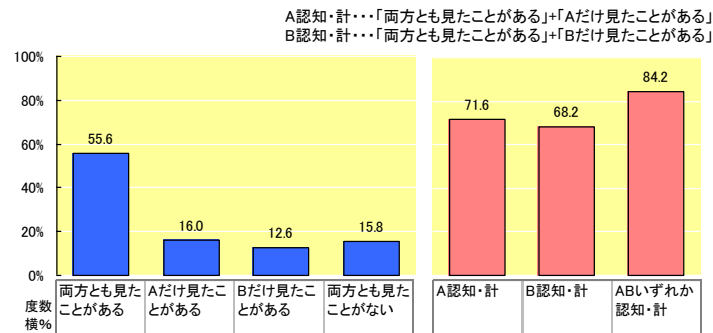
# 調查結果



Q1.今年に入ってから本日までの期間に、このCMを見たことがありますか。

CM認知率 (ABいずれか) は8割強に達し、大変よく知られている。

- 全体では、CM認知率(「ABいずれか認知・計」)が84.2%に達する。「両方とも見たことがある」も半数(55.6%)を越え、よく認知されている。
- ABいずれの認知率も約7割で、昨年よりBの認知率が上昇した。
- 地域別にみると、「両方とも見たことがある」が「大阪府(大阪市・堺市除く)」、「堺市」で60%以上とやや高い。
- 「女性」、「20代」、「乳幼児あり」層の若い世代で認知が高い傾向。



	3100	1724	496	391	489
全体	100.0	55.6	16.0	12.6	15.8
昨年年度全体(参考)	600	274	132	84	110
	100.0	45.7	22.0	14.0	18.3

地域	310	192	45	33	40
大阪府(大阪市・堺市除く)	100.0	61.9	14.5	10.6	12.9
大阪市	310	174	50	30	56
	100.0	56.1	16.1	9.7	18.1
堺市	310	188	44	29	49
	100.0	60.6	14.2	9.4	15.8
京都府(京都市除く)	310	175	41	36	58
	100.0	56.5	13.2	11.6	18.7
京都市	310	154	55	44	57
	100.0	49.7	17.7	14.2	18.4
兵庫県(神戸市除く)	310	173	49	46	42
	100.0	55.8	15.8	14.8	13.5
神戸市	310	159	58	53	40
	100.0	51.3	18.7	17.1	12.9
奈良県	310	182	46	41	41
	100.0	58.7	14.8	13.2	13.2
滋賀県	310	167	53	45	45
	100.0	53.9	17.1	14.5	14.5
和歌山県	310	160	55	34	61
	100.0	51.6	17.7	11.0	19.7
性別	1550	713	278	221	338
	100.0	46.0	17.9	14.3	21.8
女性	1550	1011	218	170	151
	100.0	65.2	14.1	11.0	9.7
年代	620	391	83	72	74
	100.0	63.1	13.4	11.6	11.9
30代	620	368	71	86	95
	100.0	59.4	11.5	13.9	15.3
40代	620	326	119	82	93
	100.0	52.6	19.2	13.2	15.0
50代	620	361	94	66	99
	100.0	58.2	15.2	10.6	16.0
60代	620	278	129	85	128
	100.0	44.8	20.8	13.7	20.6
同居子の学齢	410	257	46	57	50
	100.0	62.7	11.2	13.9	12.2
小中学生あり	472	249	82	64	77
	100.0	52.8	17.4	13.6	16.3
高校生以上あり	732	393	135	79	125
	100.0	53.7	18.4	10.8	17.1
子なし	1734	954	276	225	279
	100.0	55.0	15.9	13.0	16.1

A 「見えにくい」篇 (15秒)

【女性の声】  
「もしかして…」  
と思ったら、  
ためらわずにお電話を。

B 「虐待シグナル」篇 (15秒)

【声：西田敏行】

児童虐待防止のための  
大切なお願いです。

長時間、  
泣いている。

深夜、  
外に出されている。

からだや服が、  
汚れている。

間違っなくても、

かまいません。

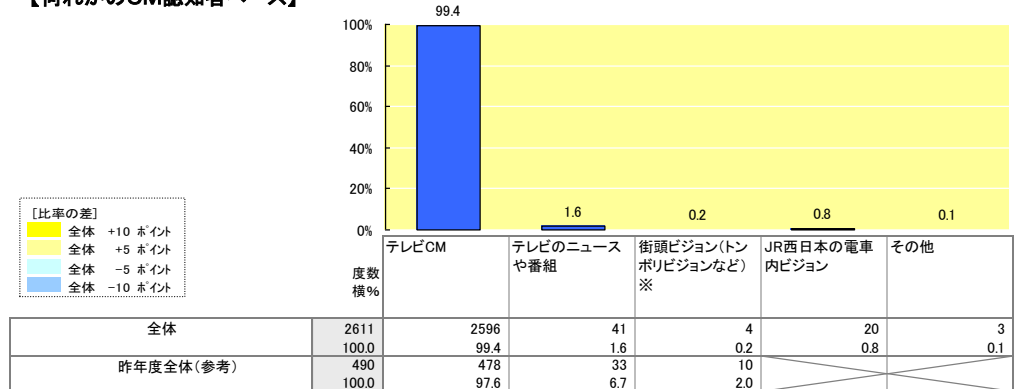
「もしかして…」  
と思ったら、  
ためらわずにお電話を。

Q2.このCMをどこでみた記憶がありますか。

ほぼ全員が「テレビCM」からの記憶である。

- 全体では、「テレビCM」が99.4%と突出して高い。其他媒体の記憶はほとんどない。
- 属性による違いはみられない。

【何れかのCM認知者ベース】



	テレビCM	テレビのニュースや番組	街頭ビジョン(トンポリビジョンなど)※	JR西日本の電車内ビジョン	その他
全体	2611	41	4	20	3
昨年度全体(参考)	490	33	10	0.8	0.1
	100.0	97.6	6.7	2.0	

属性	媒体	度数	率%	テレビのニュースや番組	街頭ビジョン(トンポリビジョンなど)※	JR西日本の電車内ビジョン	その他
地域	大阪府(大阪市・堺市除く)	270	268	4	0	4	1
		100.0	99.3	1.5	0.0	1.5	0.4
	大阪市	254	253	7	1	1	0
		100.0	99.6	2.8	0.4	0.4	0.0
	堺市	261	260	6	1	2	0
		100.0	99.6	2.3	0.4	0.8	0.0
	京都府(京都市除く)	252	250	3	0	0	0
		100.0	99.2	1.2	0.0	0.0	0.0
	京都市	253	253	3	0	2	0
		100.0	100.0	1.2	0.0	0.8	0.0
	兵庫県(神戸市除く)	268	263	7	1	4	0
		100.0	98.1	2.6	0.4	1.5	0.0
	神戸市	270	268	2	0	1	1
		100.0	99.3	0.7	0.0	0.4	0.4
奈良県	269	268	4	1	3	0	
	100.0	99.6	1.5	0.4	1.1	0.0	
滋賀県	265	264	4	0	2	1	
	100.0	99.6	1.5	0.0	0.8	0.4	
和歌山県	249	249	1	0	1	0	
	100.0	100.0	0.4	0.0	0.4	0.0	
性別	男性	1212	1205	21	1	10	0
		100.0	99.4	1.7	0.1	0.8	0.0
	女性	1399	1391	20	3	10	3
		100.0	99.4	1.4	0.2	0.7	0.2
年代	20代	546	543	7	1	11	0
		100.0	99.5	1.3	0.2	2.0	0.0
	30代	525	524	5	1	3	1
		100.0	99.8	1.0	0.2	0.6	0.2
	40代	527	526	3	0	4	0
		100.0	99.8	0.6	0.0	0.8	0.0
	50代	521	516	13	2	0	1
		100.0	99.0	2.5	0.4	0.0	0.2
	60代	492	487	13	0	2	1
		100.0	99.0	2.6	0.0	0.4	0.2

今年度と同一選択肢なし ※昨年は「街頭ビジョン(梅田ビッグマンなど)」

Q3.「A」「B」それぞれのCM(CM画像)の印象について、下記の中からあてはまるものをお選びください。

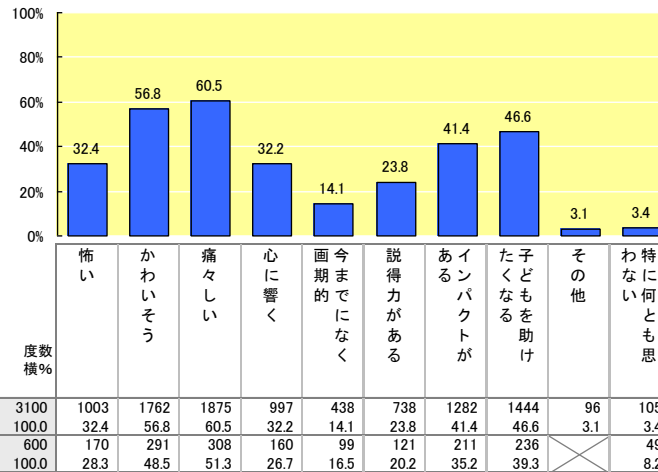
### 悲痛なイメージが強く、インパクトを持ったCMである。

■A、Bともに、「痛々しい」、「かわいそう」、「子どもを助けたい」、「インパクトがある」が上位に挙がる。

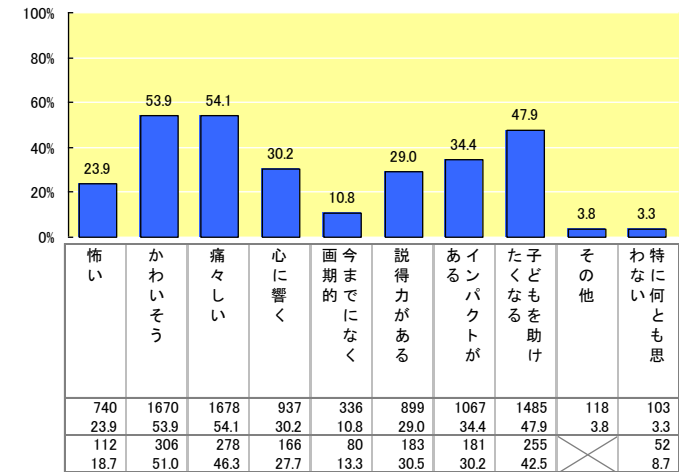
また、Aでは、「怖い」、「痛々しい」といった恐怖感がBより5ポイント以上高く、それらが「インパクト」につながっている様子がうかがえる。但し、「説得力がある」では、逆にBの方が5ポイント程度高い。昨年と比べると、Aに対して「かわいそう」、「痛々しい」という印象がさらに強くなった。

■地域別でも、傾向としては同じ。

A「見えにくい」篇について



B「虐待シグナル」篇について



⊠ 今年度と同一選択肢なし

[比率の差]  
 全体 +10 ポイント  
 全体 +5 ポイント  
 全体 -5 ポイント  
 全体 -10 ポイント

	全体	怖い	かわいそう	痛々しい	心に響く	画今までのに	説得力がある	インパクトがある	子どもを助けたい	その他	特になし
今年度	3100	1003	1762	1875	997	438	738	1282	1444	96	105
昨年度全体(参考)	600	170	291	308	160	99	121	211	236	⊠	49
比率	100.0	28.3	48.5	51.3	26.7	16.5	20.2	35.2	39.3	3.1	8.2

	全体	怖い	かわいそう	痛々しい	心に響く	画今までのに	説得力がある	インパクトがある	子どもを助けたい	その他	特になし
今年度	740	1670	1678	937	336	899	1067	1485	118	103	
昨年度全体(参考)	239	539	541	302	108	290	344	479	38	33	
比率	100.0	51.0	46.3	46.3	27.7	13.3	30.5	30.2	42.5	3.8	8.7

地域	今年度	怖い	かわいそう	痛々しい	心に響く	画今までのに	説得力がある	インパクトがある	子どもを助けたい	その他	特になし
大阪府(大阪市・堺市除く)	310	88	185	192	101	45	66	144	154	5	10
大阪市	310	95	183	197	89	46	75	133	142	9	16
堺市	310	106	193	183	109	57	87	141	144	10	5
京都府(京都市除く)	310	113	173	183	109	48	80	114	142	11	13
京都市	310	115	167	184	100	45	61	136	148	13	12
兵庫県(神戸市除く)	310	99	178	189	89	32	59	117	141	6	10
神戸市	310	92	170	189	98	38	84	115	122	7	10
奈良県	310	100	170	186	92	42	76	125	144	9	9
滋賀県	310	97	161	188	113	44	72	131	153	15	10
和歌山県	310	98	182	184	97	41	78	126	154	11	10
比率	100.0	31.6	58.7	59.4	31.3	13.2	25.2	40.6	49.7	3.5	3.2

地域	今年度	怖い	かわいそう	痛々しい	心に響く	画今までのに	説得力がある	インパクトがある	子どもを助けたい	その他	特になし
大阪府(大阪市・堺市除く)	59	181	175	86	36	94	119	158	7	14	
大阪市	19.0	58.4	56.5	27.7	11.6	30.3	38.4	51.0	2.3	4.5	
堺市	61	168	178	93	30	92	109	141	14	17	
京都府(京都市除く)	19.7	54.2	57.4	30.0	9.7	29.7	35.2	45.5	4.5	5.5	
京都市	74	176	182	96	37	93	111	143	12	6	
兵庫県(神戸市除く)	23.9	56.8	58.7	31.0	11.9	30.0	35.8	46.1	3.9	1.9	
神戸市	76	174	161	96	36	88	92	141	12	11	
奈良県	24.5	56.1	51.9	31.0	11.6	28.4	29.7	45.5	3.9	3.5	
滋賀県	92	163	159	101	35	93	120	167	12	13	
和歌山県	29.7	52.6	51.3	32.6	11.3	30.0	38.7	53.9	3.9	4.2	
比率	100.0	51.0	46.3	46.3	27.7	13.3	30.5	30.2	42.5	3.8	8.7



# 3 CMの印象

複数回答

Q3.「A」「B」それぞれのCM(CM画像)の印象について、下記の中からあてはまるものをお選びください。

- 性別では「男性」に比べ、「女性」の方が、「痛々しい」、「かわいそう」、「子どもを助けたい」、「怖い」といった悲痛な印象が高い。
- 年代別では、若い年代ほど「怖い」、「心に響く」、「インパクトがある」、一方、「50代」、「60代」では「痛々しい」といった印象が高い傾向。
- 「乳幼児あり」層でも、「怖い」「心に響く」や「かわいそう」という印象が高い。

		A「見えにくい」篇について										
		度 数	怖 い	か わ い そ う	痛 々 し い	心 に 響 く	画 期 的 な 今 ま で に な く	説 得 力 が あ る	あ い ん ぱ く ト が	た く ど も を 助 け	そ の 他	わ た し に 何 と も 思
全体		3100	1003	1762	1875	997	438	738	1282	1444	96	105
昨年度全体(参考)		100.0	32.4	56.8	60.5	32.2	14.1	23.8	41.4	46.6	3.1	3.4
		600	170	291	308	160	99	121	211	236	49	49
		100.0	28.3	48.5	51.3	26.7	16.5	20.2	35.2	39.3		8.2
性別	男性	1550	419	819	824	433	148	302	535	610	57	83
	100.0	27.0	52.8	53.2	27.9	9.5	19.5	34.5	39.4	3.7	5.4	
女性	1550	584	943	1051	564	290	436	747	834	39	22	
	100.0	37.7	60.8	67.8	36.4	18.7	28.1	48.2	53.8	2.5	1.4	
年代	20代	620	284	369	348	240	80	153	301	260	15	22
	100.0	45.8	59.5	56.1	38.7	12.9	24.7	48.5	41.9	2.4	3.5	
	30代	620	222	361	347	213	73	113	271	287	20	27
	100.0	35.8	58.2	56.0	34.4	11.8	18.2	43.7	46.3	3.2	4.4	
	40代	620	183	359	369	194	84	135	265	295	20	18
	100.0	29.5	57.9	59.5	31.3	13.5	21.8	42.7	47.6	3.2	2.9	
50代	620	179	322	406	173	114	170	234	310	21	18	
	100.0	28.9	51.9	65.5	27.9	18.4	27.4	37.7	50.0	3.4	2.9	
60代	620	135	351	405	177	87	167	211	292	20	20	
	100.0	21.8	56.6	65.3	28.5	14.0	26.9	34.0	47.1	3.2	3.2	
同居子の 学齢	乳幼児あり	410	165	249	227	171	49	81	187	201	13	6
	100.0	40.2	60.7	55.4	41.7	12.0	19.8	45.6	49.0	3.2	1.5	
	小中学生あり	472	157	266	290	167	60	104	201	244	11	15
	100.0	33.3	56.4	61.4	35.4	12.7	22.0	42.6	51.7	2.3	3.2	
	高校生以上あり	732	188	402	453	203	103	184	270	371	21	14
100.0	25.7	54.9	61.9	27.7	14.1	25.1	36.9	50.7	2.9	1.9		
子なし	1734	574	978	1053	543	257	422	726	757	56	75	
100.0	33.1	56.4	60.7	31.3	14.8	24.3	41.9	43.7	43.7	3.2	4.3	
CM認知	両方とも見たことがない	489	110	229	218	76	21	48	96	135	17	50
	100.0	22.5	46.8	44.6	15.5	4.3	9.8	19.6	27.6	3.5	10.2	
	A認知・計	2220	800	1343	1478	848	392	632	1087	1164	55	16
	100.0	36.0	60.5	66.6	38.2	17.7	28.5	49.0	52.4	2.5	0.7	
	Aだけ見たことがある	496	156	295	318	159	67	113	183	229	12	4
	100.0	31.5	59.5	64.1	32.1	13.5	22.8	36.9	46.2	2.4	0.8	
	B認知・計	2115										
100.0												
Bだけ見たことがある	391											
100.0												
ABいずれか認知・計	2611	893	1533	1657	921	417	690	1186	1309	79	55	
100.0	34.2	58.7	63.5	35.3	16.0	26.4	45.4	50.1	50.1	3.0	2.1	

今年度と同一選択肢なし

		B「虐待シグナル」篇について										
		度 数	怖 い	か わ い そ う	痛 々 し い	心 に 響 く	画 期 的 な 今 ま で に な く	説 得 力 が あ る	あ い ん ぱ く ト が	た く ど も を 助 け	そ の 他	わ た し に 何 と も 思
全体		3100	740	1670	1678	937	336	899	1067	1485	118	103
昨年度全体(参考)		100.0	23.9	53.9	54.1	30.2	10.8	29.0	34.4	47.9	3.8	3.3
		600	112	306	278	166	80	183	181	255	52	52
		100.0	18.7	51.0	46.3	27.7	13.3	30.5	30.2	42.5		8.7
性別	男性	333	746	751	405	116	380	492	628	61	84	
	100.0	21.5	48.1	48.5	26.1	7.5	24.5	31.7	40.5	3.9	5.4	
女性	407	924	927	532	220	519	575	857	57	19		
	100.0	26.3	59.6	59.8	34.3	14.2	33.5	37.1	55.3	3.7	1.2	
年代	20代	620	204	347	329	206	47	177	233	260	23	21
	100.0	32.9	56.0	53.1	33.2	7.6	28.5	37.6	41.9	3.7	3.4	
	30代	620	155	357	303	199	55	139	227	301	20	24
	100.0	25.0	57.6	48.9	32.1	8.9	22.4	36.6	48.5	3.2	3.9	
	40代	620	135	341	326	187	66	171	217	308	26	21
	100.0	21.8	55.0	52.6	30.2	10.6	27.6	35.0	49.7	4.2	3.4	
50代	620	145	309	353	170	98	206	195	310	25	16	
	100.0	23.4	49.8	56.9	27.4	15.8	33.2	31.5	50.0	4.0	2.6	
60代	620	101	316	367	175	70	206	195	306	24	21	
	100.0	16.3	51.0	59.2	28.2	11.3	33.2	31.5	49.4	3.9	3.4	
同居子の 学齢	乳幼児あり	410	114	251	199	163	39	103	147	221	14	6
	100.0	27.8	61.2	48.5	39.8	9.5	25.1	35.9	53.9	3.4	1.5	
	小中学生あり	472	115	272	246	142	52	125	161	249	18	12
	100.0	24.4	57.6	52.1	30.1	11.0	26.5	34.1	52.8	3.8	2.5	
	高校生以上あり	732	133	372	397	192	86	225	223	376	25	18
100.0	18.2	50.8	54.2	26.2	11.7	30.7	30.5	51.4	3.4	2.5		
子なし	1734	431	917	964	514	184	509	617	767	68	70	
100.0	24.9	52.9	55.6	29.6	10.6	29.4	35.6	44.2	44.2	3.9	4.0	
CM認知	両方とも見たことがない	109	215	244	85	17	59	115	168	10	46	
	100.0	22.3	44.0	49.9	17.4	3.5	12.1	23.5	34.4	2.0	9.4	
	A認知・計	2220										
	100.0											
	Aだけ見たことがある	496										
	100.0											
	B認知・計	2115										
100.0												
Bだけ見たことがある	391											
100.0												
ABいずれか認知・計	2611	503	1224	1203	747	271	752	825	1141	64	25	
100.0	23.8	57.9	56.9	35.3	12.8	35.6	39.0	53.9	3.0	1.2		
Aだけ見たことがある	496	70	192	196	109	36	142	137	187	11	9	
100.0	17.9	49.1	50.1	27.9	9.2	36.3	35.0	47.8	2.8	2.3		
Bだけ見たことがある	631	1455	1434	852	319	840	952	1317	108	57		
100.0	24.2	55.7	54.9	32.6	12.2	32.2	36.5	50.4	4.1	2.2		

## 4 CMの影響による意識・行動の変化<自由回答> ●代表的な回答●

自由回答

Q3.この2種類のCM(CM画像)をご覧になった後、児童虐待に関するあなたの意識や行動は何か変化しましたか。どのようなことでも結構です。なるべく具体的にご記入ください。

- 「身近な問題だと感じるようになった」、「問題意識や関心度が高まった」と、なんらかの意識変化があったと回答した人が多い。「いざというときに、迷わず通報したいと思うようになった」という回答も多く見られた。さらに、意識だけでなく、「周りの子どもに注意するようになった」、「ニュースに関心を持つようになった」など、具体的な行動の変化があった人も見られた。
- 一方、「周囲に子どもがいないため変化はない」、「以前から問題意識が高いため変化はない」など、意識・行動の変化は特にないという人も存在する。

### ▼行動の変化あり

#### 周りを注意するようになった

あまり、そういった事には無関心だったのですが、周りの子どもたちを意識するようになりました。	女性_40代
まわりを少し気をつけるようになりました	女性_60代
周りにそれらしき親が居ないか注意するようになった。	男性_40代
周りの子どもをもっと見ようと思った。ひょっととしたしぐさで助けを求めているかもしれない	男性_60代
周囲の様子に気を配るようになった。	男性_40代

#### ニュースが気になるようになった

以前より、児童虐待のニュースに敏感になった。	女性_20代
児童虐待に関するニュースにさらに関心を持つようになった。	男性_20代
児童虐待に関するニュースを今までよりチェックするようになった。また友達とよく討論するようになった。	女性_20代
児童虐待のニュースが非常に目につくようになった。私にはまだ、子どもはいませんが大切な我が子なのになぜ、暴力の対象になってしまうのかと悲しい気持ちでいっぱいになりました。	女性_20代
児童虐待のニュースや新聞記事に注意がいくようになった。	男性_30代

### ▼意識・行動とも変化なし

#### 自分／周りに子どもがいないため、変化はない

自分に子どもがいないから特に変化はない	男性_40代
周りに子どもが全くいないので特に変化なし	女性_30代
周囲に子どもも居ないので特に変化無し	男性_40代

#### CM以前から問題意識があったため、変化はない

なかなか周辺で疑わしいケースも実際の虐待のケースも遭遇したことはありませんが、違うCMや実際のニュースを見て日頃から高い意識は持っているつもりです。だから特に変化はありません	女性_40代
もともと児童虐待には強い憤りをもっているから、新たに意識や行動に変化はない。	男性_60代
元々児童虐待は許せない質なので、特に変化はない	男性_40代
児童虐待に対する問題意識は以前からあったので、特に変わることはない。	男性_40代

### ▼意識の変化あり

#### 身近な問題だと感じるようになった

虐待が身近にあることを感じた。	男性_20代
今まで児童虐待をあまり身近に感じることはなかったが、このCMを見て児童虐待は自分が気づかないだけで大変身近なことなのだと感じました。	女性_20代
児童虐待が身近で起こっているのではないかと考えるようになった。	女性_20代
児童虐待が身近な問題だと思った。	男性_30代
大きくは変化しなかったが、自分には全く関係のないことでもないという意識は持つようになった。	男性_20代

#### 問題意識／関心が高まった

虐待はいけないことはわかっているので、さらに自分の意識がより強くなった。特に行動はしていない。	男性_30代
近所に小さな子どもがいないので今まであまり児童虐待に関心がなかったが、CMをみて意識するようになった	女性_40代
元々、児童虐待に関しては一定の知識があったので、情報自体はさして注目すべきこともないが、感性に訴えるものはあったので、問題の深刻さと解決に向けた協力の必要性を改めて感じた。	男性_20代
児童虐待について真剣に考えるようにはなった。	男性_20代

#### 絶対許せない

児童虐待は絶対に許すことはできない。	男性_50代
児童虐待は絶対許されない行為。子どもの保護が第一、虐待する者は厳罰で処罰。	男性_50代

#### 疑いがあればすぐ行動(通報)したいと思うようになった

意識は変化してませんが、児童虐待が起こっているかもと思えばこのCMを思い出してこの電話番号に電話はすると思います。	男性_20代
意識や行動に特に変化はない。これまででもそうであったが、虐待を疑うような時は、必ず通報しようと思う。	女性_50代
虐待は、周りが気づいて連絡をしないとイケないと思った。些細な変化もとりあえず報告することが大事。また、見逃さずに気づいてあげたいと思った。	女性_30代
児童虐待に対する意識は、CMを見る前も、見た後も変わりませんでした。ただ、実際に行動するという点では、「動かなければ。」という気持ちになりました。	女性_40代
少しでも虐待の疑いがあれば迷わず通報すべきという気持ちがとても強まった	女性_50代

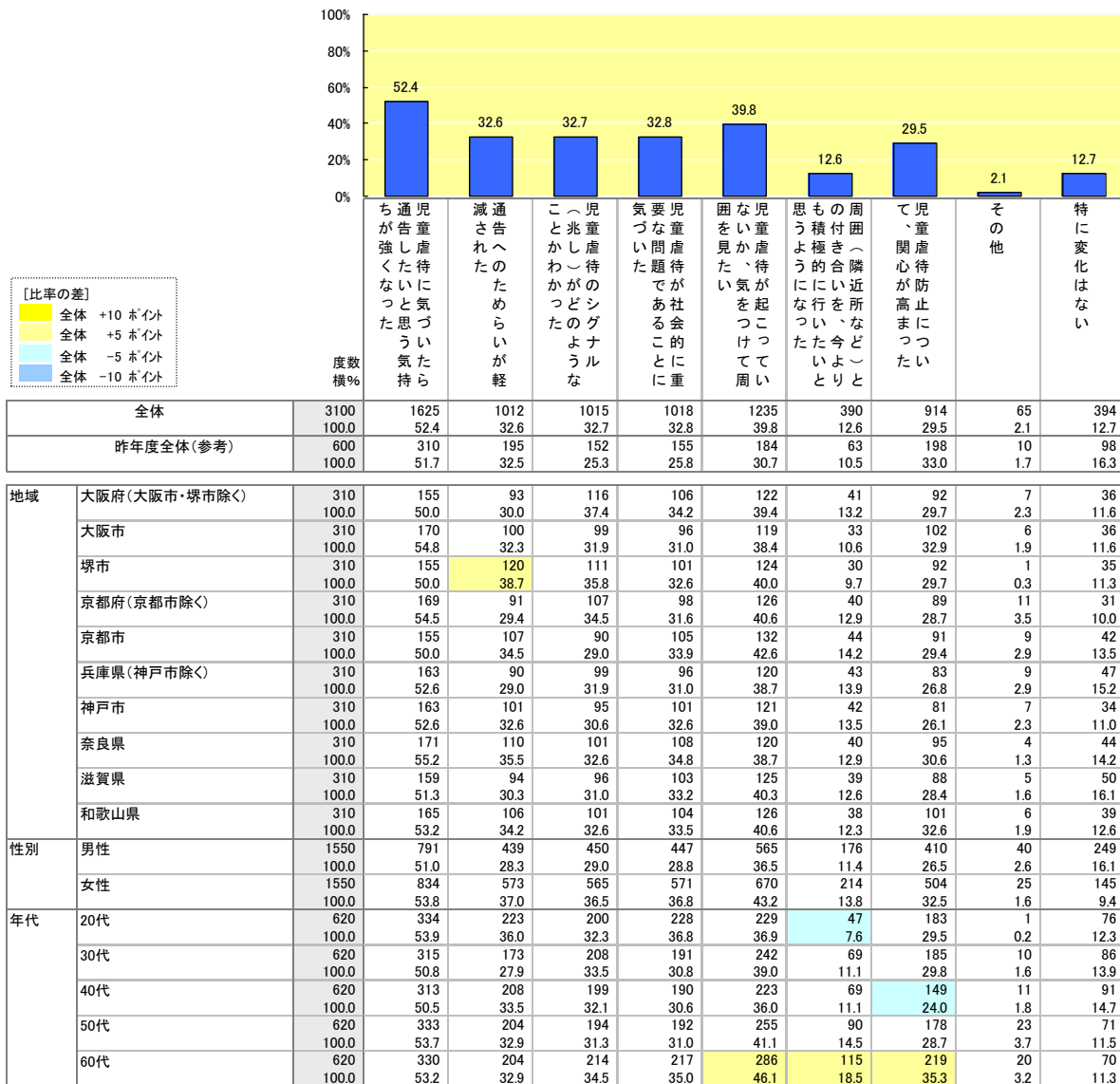
# 5-1 CMの影響による意識・行動の変化<選択肢回答>

複数回答

Q5.この2種類のCM(CM画像)をご覧になった後のあなたの意識や行動の変化として、該当する答えを全てお選びください。

CMは、虐待通告の意識を喚起した。

- 全体では、「児童虐待に気づいたら通告したいと思う気持ちが強くなった」が52.4%で最多。次いで、「児童虐待が起こっていないか、気をつけて周囲を見たい」(39.8%)と続く。虐待を見つけて、通告するという意識が喚起された。昨年と比べると、「児童虐待が起こっていないか、気をつけて周囲を見たい」、「児童虐待のシグナル(兆し)がどのようなことかわかった」、「児童虐待が社会的に重要な問題であることに気づいた」が上昇した。
- 地域別では、「堺市」で「通告へのためらいが軽減された」がやや高い。
- 年代別では、「60代」で「児童虐待が起こっていないか、気をつけて周囲を見たい」(46.1%)、「児童虐待防止について、関心が高まった」(35.3%)、「周囲(隣近所など)との付き合いを、今よりも積極的に行いたいと思うようになった」(18.5%)など、児童虐待への関心の高まりと周囲への配慮が他の年代以上にみられる。



# 5-1 CMの影響による意識・行動の変化<選択肢回答>

複数回答

Q5.この2種類のCM(CM画像)をご覧になった後のあなたの意識や行動の変化として、該当する答えを全てお選びください。

- 近隣との関わり方別では、地域活動で交流している層は、虐待の通告意識やより周囲との繋がりを強めたいという意識が促進された。
- CM認知別では、「Bだけ見たことがある」層は、「Aだけ見たことがある」層に比べ、「通告へのためらいが軽減された」が10ポイント以上高い。Bは通告促進の効果が高いと考えられる。



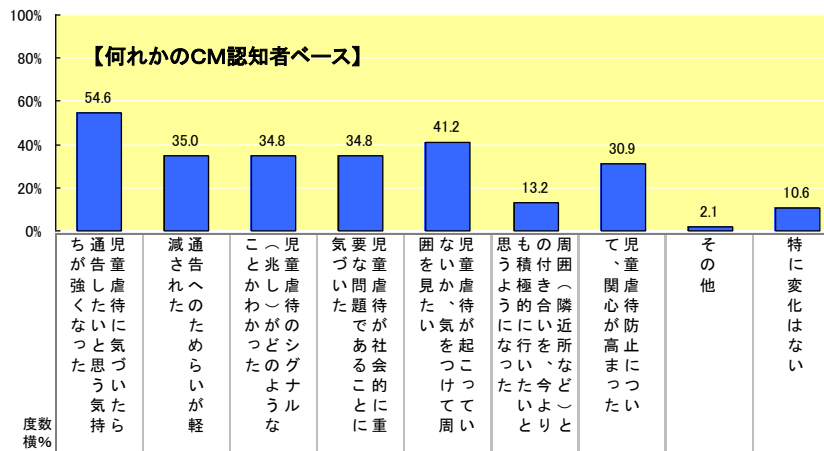
		度数 横%	児童虐待 が強く なると 思う 気持ち が持 た	児童虐待 のシグ ナル な い	児童虐待 が社 会的 に重 要な 問 題で ある こと に重 視を 見 たい	児童虐待 が起 こっ て周 圍を 見 たい	周囲 (隣 近 所 な ど) と の 関 係 を 強 め たい	児童 虐待 防 止 に つ い て 関 心 が 高 ま っ た	その他	特 に 変 化 は な い	
全体		3100	1625	1012	1015	1018	1235	390	914	65	394
昨年度全体(参考)		600	310	195	152	155	184	63	198	10	98
		100.0	51.7	32.5	25.3	25.8	30.7	10.5	33.0	1.7	16.3
同居子の 学齢	乳幼児あり	410	198	121	144	137	157	65	138	5	41
		100.0	48.3	29.5	35.1	33.4	38.3	15.9	33.7	1.2	10.0
	小中学生あり	472	243	149	163	148	197	82	125	9	57
		100.0	51.5	31.6	34.5	31.4	41.7	17.4	26.5	1.9	12.1
	高校生以上あり	732	395	265	221	223	293	119	200	24	81
	100.0	54.0	36.2	30.2	30.5	40.0	16.3	27.3	3.3	11.1	
	子なし	1734	922	560	566	591	684	176	517	31	240
		100.0	53.2	32.3	32.6	34.1	39.4	10.1	29.8	1.8	13.8
近隣との 関わり方	挨拶する	2541	1389	863	873	859	1069	370	785	56	277
		100.0	54.7	34.0	34.4	33.8	42.1	14.6	30.9	2.2	10.9
	行き来をしたり一緒にどこかに遊びに行ったりする	606	351	213	218	220	272	141	216	14	53
		100.0	57.9	35.1	36.0	36.3	44.9	23.3	35.6	2.3	8.7
	自治会の会合に出席する	868	508	294	326	305	394	185	297	24	75
		100.0	58.5	33.9	37.6	35.1	45.4	21.3	34.2	2.8	8.6
	地域のイベントに参加する	844	507	287	300	305	393	199	293	22	71
	100.0	60.1	34.0	35.5	36.1	46.6	23.6	34.7	2.6	8.4	
	いずれも行っていない	519	220	140	127	140	150	19	120	9	110
		100.0	42.4	27.0	24.5	27.0	28.9	3.7	23.1	1.7	21.2
CM認知	両方とも見たことがある	1724	965	631	650	624	755	234	582	33	156
		100.0	56.0	36.6	37.7	36.2	43.8	13.6	33.8	1.9	9.0
	Aだけ見たことがある	496	255	135	123	163	166	55	126	14	66
		100.0	51.4	27.2	24.8	32.9	33.5	11.1	25.4	2.8	13.3
	Bだけ見たことがある	391	206	149	135	121	154	56	99	8	55
		100.0	52.7	38.1	34.5	30.9	39.4	14.3	25.3	2.0	14.1
	両方とも見たことがない	489	199	97	107	110	160	45	107	10	117
		100.0	40.7	19.8	21.9	22.5	32.7	9.2	21.9	2.0	23.9
	A認知・計	2220	1220	766	773	787	921	289	708	47	222
		100.0	55.0	34.5	34.8	35.5	41.5	13.0	31.9	2.1	10.0
B認知・計	2115	1171	780	785	745	909	290	681	41	211	
	100.0	55.4	36.9	37.1	35.2	43.0	13.7	32.2	1.9	10.0	
ABいずれか認知・計	2611	1426	915	908	908	1075	345	807	55	277	
	100.0	54.6	35.0	34.8	34.8	41.2	13.2	30.9	2.1	10.6	

# 5-2 CMの影響による意識・行動の変化<選択肢回答> CM認知者ベース

複数回答

Q5.この2種類のCM(CM画像)をご覧になった後のあなたの意識や行動の変化として、該当する答えを全てお選びください。

■地域別では、全体と比べて、「和歌山県」で「児童虐待防止について、関心が高まった」が高く、「兵庫県」で「通告へのためらいが軽減された」が低い。



[比率の差]  
 全体 +10 ポイント  
 全体 +5 ポイント  
 全体 -5 ポイント  
 全体 -10 ポイント

		全体	2611	1426	915	908	908	1075	345	807	55	277
地域	大阪府(大阪市・堺市除く)	270	139	91	103	93	105	37	83	7	28	
	大阪市	254	147	90	92	88	109	29	87	5	21	
	堺市	261	140	113	100	91	103	28	80	1	26	
	京都府(京都市除く)	252	149	78	96	85	106	35	82	9	18	
	京都市	253	127	94	78	88	111	36	73	5	30	
	兵庫県(神戸市除く)	268	143	79	89	83	101	38	71	7	38	
	神戸市	270	148	93	85	95	103	37	72	7	24	
	奈良県	269	152	99	92	100	112	36	86	4	36	
	滋賀県	265	141	87	86	94	115	35	83	5	33	
	和歌山県	249	140	91	87	91	110	34	90	5	23	
	男性	1212	655	382	381	374	462	145	341	34	155	
	女性	1399	771	533	527	534	613	200	466	21	122	
	20代	546	301	207	185	212	208	44	173	1	54	
	30代	525	274	160	185	170	217	59	164	7	64	
40代	527	275	189	184	173	200	65	130	10	67		
50代	521	298	188	171	169	216	80	157	19	48		
60代	492	278	171	183	184	234	97	183	18	44		

# 5-2 CMの影響による意識・行動の変化<選択肢回答> CM認知者ベース

複数回答

Q5.この2種類のCM(CM画像)をご覧になった後のあなたの意識や行動の変化として、該当する答えを全てお選びください。

■近隣との関わり方別では、近隣との関わりが薄い(いずれも行っていない)層に対しても、全体に比べて低いものの、「児童虐待に気づいたら通告したいと思う気持ちが強くなった」が44.3%と、通告への意識喚起効果が認められる。



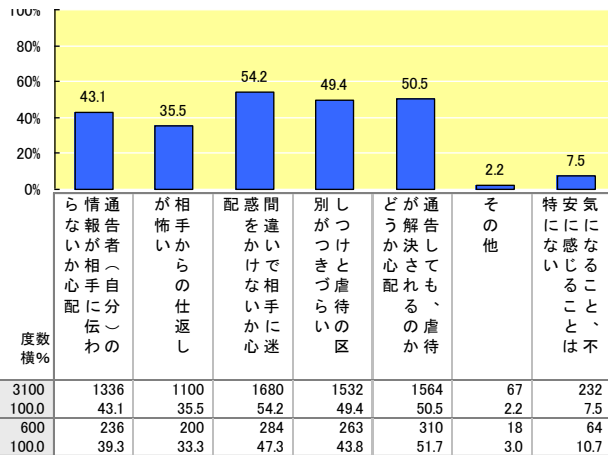
【何れかのCM認知者ベース】

	度数 横%	児童虐待 が強く なった	児童虐待 に気づ いた	児童虐待 防止の 意識が 高まった	児童虐待 防止の 意識が 下がった	児童虐待 防止の 意識が 変わら ない	児童虐待 防止の 意識が 高まった	児童虐待 防止の 意識が 下がった	児童虐待 防止の 意識が 変わら ない	その他	特に 変化は ない
全体	2611 100.0	1426 54.6	915 35.0	908 34.8	908 34.8	1075 41.2	345 13.2	807 30.9	55 2.1	277 10.6	
同居子の 学齢	乳幼児あり	360 100.0	175 48.6	111 30.8	130 36.1	124 34.4	146 40.6	56 15.6	126 35.0	4 1.1	30 8.3
	小中学生あり	395 100.0	207 52.4	138 34.9	146 37.0	129 32.7	165 41.8	71 18.0	108 27.3	8 2.0	43 10.9
	高校生以上あり	607 100.0	341 56.2	234 38.6	199 32.8	195 32.1	250 41.2	102 16.8	175 28.8	19 3.1	58 9.6
	子なし	1455 100.0	813 55.9	505 34.7	503 34.6	528 36.3	595 40.9	160 11.0	456 31.3	28 1.9	165 11.3
近隣との 関わり方	挨拶する	2163 100.0	1228 56.8	787 36.4	788 36.4	772 35.7	937 43.3	329 15.2	699 32.3	48 2.2	197 9.1
	行き来をしたり一緒にどこか に遊びに行ったりする	521 100.0	311 59.7	193 37.0	194 37.2	199 38.2	247 47.4	128 24.6	192 36.9	12 2.3	37 7.1
	自治会の会合に出席する	730 100.0	443 60.7	264 36.2	284 38.9	270 37.0	344 47.1	163 22.3	263 36.0	23 3.2	51 7.0
	地域のイベントに参加する	717 100.0	446 62.2	262 36.5	273 38.1	276 38.5	352 49.1	177 24.7	262 36.5	19 2.6	45 6.3
	いずれも行っていない	415 100.0	184 44.3	121 29.2	108 26.0	119 28.7	125 30.1	15 3.6	101 24.3	7 1.7	74 17.8
CM認知	両方とも見たことがある	1724 100.0	965 56.0	631 36.6	650 37.7	624 36.2	755 43.8	234 13.6	582 33.8	33 1.9	156 9.0
	Aだけ見たことがある	496 100.0	255 51.4	135 27.2	123 24.8	163 32.9	166 33.5	55 11.1	126 25.4	14 2.8	66 13.3
	Bだけ見たことがある	391 100.0	206 52.7	149 38.1	135 34.5	121 30.9	154 39.4	56 14.3	99 25.3	8 2.0	55 14.1
	両方とも見たことがない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	A認知・計	2220 100.0	1220 55.0	766 34.5	773 34.8	787 35.5	921 41.5	289 13.0	708 31.9	47 2.1	222 10.0
	B認知・計	2115 100.0	1171 55.4	780 36.9	785 37.1	745 35.2	909 43.0	290 13.7	681 32.2	41 1.9	211 10.0
	ABいずれか認知・計	2611 100.0	1426 54.6	915 35.0	908 34.8	908 34.8	1075 41.2	345 13.2	807 30.9	55 2.1	277 10.6

## Q6.児童虐待に気づいた際に、通告にあたって、何か気になること、不安に感じることはありますか。

虐待行為の判断の難しさや通告後の改善に対して、不安が高い。

- 全体では、「間違いで相手に迷惑をかけないか心配」(54.2%)、「しつけと虐待の区別がつきづらい」(49.4%)という虐待行為の判断の難しさと、「通告しても、虐待が解決されるのかどうか心配」(50.5%)との虐待改善の心配が上位に挙がる。昨年と比べて、懸念や不安が若干増加している。
- 地域別では、「堺市」で「相手からの仕返しが怖い」、「兵庫県」は「しつけと虐待の区別がつきづらい」が全体よりも高い。
- 年代別では、「20代」「30代」の若い年代ほど、「通告者(自分)の情報が相手に伝わらないか心配」、「相手からの仕返しが怖い」が高く、通告者の身の安全に対して心配がみられる。また、虐待行為の判断にも不安が高いといえる。
- 性別では、「男性」に比べ「女性」は全体的に心配や不安が高い。



	度数	横%	気にならないか相手(自己)に伝わらないか	相手からの仕返し	間違ったやり方で相手に迷惑をかけること	しつけと虐待の区別	通告が心ざかりで配る、虐待か	その他	不安に感じることは
全体	3100	1336	1100	1680	1532	1564	67	232	
昨年度全体(参考)	600	236	200	284	263	310	18	64	
	100.0	39.3	33.3	47.3	43.8	51.7	3.0	10.7	

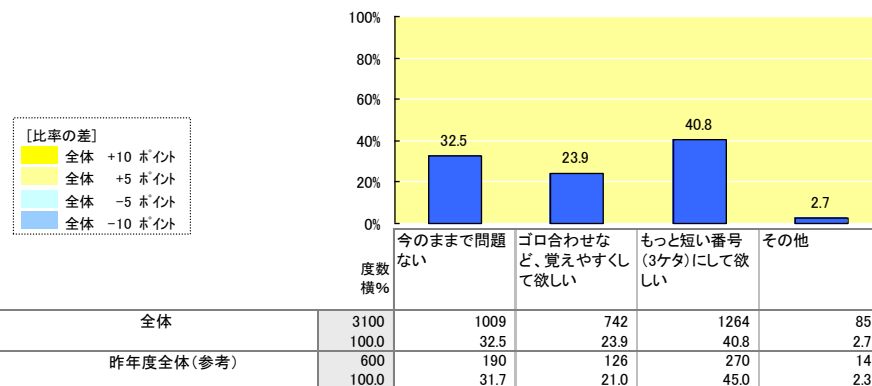
地域	度数	横%	気にならないか相手(自己)に伝わらないか	相手からの仕返し	間違ったやり方で相手に迷惑をかけること	しつけと虐待の区別	通告が心ざかりで配る、虐待か	その他	不安に感じることは
大阪府(大阪市・堺市除く)	310	147	116	170	156	157	5	21	
大阪市	1000	47.4	37.4	54.8	50.3	50.6	1.6	6.8	
堺市	310	130	91	156	154	150	9	34	
京都府(京都市除く)	310	128	112	171	139	141	8	29	
京都市	1000	41.3	36.1	55.2	44.8	45.5	2.6	9.4	
兵庫県(神戸市除く)	310	116	104	171	174	147	5	18	
神戸市	1000	37.4	33.5	55.2	56.1	47.4	1.6	5.8	
奈良県	310	137	110	171	151	155	5	21	
滋賀県	310	132	105	166	158	169	9	24	
和歌山県	310	133	112	164	139	164	7	26	
	1000	42.9	36.1	52.9	44.8	52.9	2.3	8.4	

性別	度数	横%	気にならないか相手(自己)に伝わらないか	相手からの仕返し	間違ったやり方で相手に迷惑をかけること	しつけと虐待の区別	通告が心ざかりで配る、虐待か	その他	不安に感じることは
男性	1550	582	512	752	689	700	35	175	
女性	1000	37.5	33.0	48.5	44.5	45.2	2.3	11.3	
年代	1550	754	588	928	843	864	32	57	
20代	1000	48.6	37.9	59.9	54.4	55.7	2.1	3.7	
30代	620	309	265	370	345	283	13	43	
40代	1000	49.8	42.7	59.7	55.6	45.6	2.1	6.9	
50代	620	302	266	349	320	312	12	33	
60代	1000	48.7	42.9	56.3	51.6	50.3	1.9	5.3	
	620	270	235	346	307	314	15	47	
	1000	43.5	37.9	55.8	49.5	50.6	2.4	7.6	
	620	239	200	301	264	340	17	48	
	1000	38.5	32.3	48.5	42.6	54.8	2.7	7.7	
	620	216	134	314	296	315	10	61	
	1000	34.8	21.6	50.6	47.7	50.8	1.6	9.8	

Q7. 通告の電話番号(児童相談所全国共通ダイヤル0570-064-000)について、下記の中からあなたのお考えに最も近いものを1つ選んでお答えください。

電話番号の改善希望は7割弱。中でも、短縮化の希望が強い。

- 全体では、7割弱が電話番号の改善を希望している。  
最も多いのが、「もっと短い番号(3ケタ)にして欲しい」で40.8%。
- 地域別では、「堺市」で「もっと短い番号(3ケタ)にして欲しい」がやや高い傾向。
- 年代別では、50代、60代では、「もっと短い番号(3ケタ)にして欲しい」が5割弱と高い。



		3100	1009	742	1264	85
全体		100.0	32.5	23.9	40.8	2.7
昨年度全体(参考)		600	190	126	270	14
		100.0	31.7	21.0	45.0	2.3
地域		310	90	72	139	9
	大阪府(大阪市・堺市除く)	100.0	29.0	23.2	44.8	2.9
	大阪市	310	92	70	140	8
	堺市	100.0	29.7	22.6	45.2	2.6
	堺市	310	88	71	144	7
	堺市	100.0	28.4	22.9	46.5	2.3
	京都府(京都市除く)	310	99	86	115	10
	京都市	100.0	31.9	27.7	37.1	3.2
	京都市	310	110	63	128	9
	京都市	100.0	35.5	20.3	41.3	2.9
	兵庫県(神戸市除く)	310	105	78	117	10
	神戸市	100.0	33.9	25.2	37.7	3.2
	神戸市	310	115	83	102	10
	神戸市	100.0	37.1	26.8	32.9	3.2
	奈良県	310	91	76	136	7
	奈良県	100.0	29.4	24.5	43.9	2.3
	滋賀県	310	108	67	128	7
	滋賀県	100.0	34.8	21.6	41.3	2.3
	和歌山県	310	111	76	115	8
	和歌山県	100.0	35.8	24.5	37.1	2.6
性別		1550	528	362	606	54
	男性	100.0	34.1	23.4	39.1	3.5
	女性	1550	481	380	658	31
	女性	100.0	31.0	24.5	42.5	2.0
年代		620	234	175	201	10
	20代	100.0	37.7	28.2	32.4	1.6
	30代	620	215	144	246	15
	30代	100.0	34.7	23.2	39.7	2.4
	40代	620	226	148	226	20
	40代	100.0	36.5	23.9	36.5	3.2
	50代	620	184	131	284	21
	50代	100.0	29.7	21.1	45.8	3.4
	60代	620	150	144	307	19
	60代	100.0	24.2	23.2	49.5	3.1
新聞広告認知	見たことがある	466	132	123	193	18
	見たことがある	100.0	28.3	26.4	41.4	3.9
	見たことがない	2634	877	619	1071	67
	見たことがない	100.0	33.3	23.5	40.7	2.5



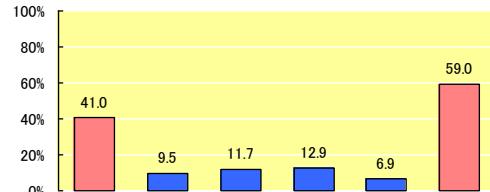
# 8 オレンジリボン(運動)の認知度

単数回答

Q8.オレンジリボン(運動)の存在を知っていましたか。

認知率は4割強、内容までの認知は1割弱にとどまる。

- 全体では、オレンジリボン(運動)の認知・計は41.0%、「内容まで知っていた」は9.5%にとどまる。昨年と比べると、認知率は上昇しているが、まだ十分に浸透しているとは言えない。
- 地域別では、認知が高いのが「滋賀県」(認知・計 51.6%)、「大阪市」、「奈良県」(同46.8%)。特に「滋賀県」では「内容まで知っていた」(16.5%)も他の地域に比べ高い。一方、認知が低いのが「神戸市」、「京都市」、「和歌山県」であった。
- 新聞広告認知別では、「見たことがある」層の66.7%がオレンジリボン(運動)を認知しており、また、「内容まで知っていた」が18.9%と、認知レベルも高い。



[比率の差]  
 全体 +10 ポイント  
 全体 +5 ポイント  
 全体 -5 ポイント  
 全体 -10 ポイント

	認知・計	内容まで知っていた	内容は知っているが、名前がなかった	名前がわかったが、内容がわからなかった	名前も内容もわからなかった
全体	3100 100.0	1272 41.0	294 9.5	364 11.7	213 6.9
昨年度全体(参考)	600 100.0	154 25.7	28 4.7	38 6.3	20 3.3
地域					
大阪府(大阪市・堺市除く)	310 100.0	132 42.6	33 10.6	34 11.0	42 13.5
大阪市	310 100.0	145 46.8	38 12.3	43 13.9	49 15.8
堺市	310 100.0	135 43.5	29 9.4	38 12.3	44 14.2
京都府(京都市除く)	310 100.0	112 36.1	29 9.4	35 11.3	30 9.7
京都市	310 100.0	103 33.2	20 6.5	29 9.4	34 11.0
兵庫県(神戸市除く)	310 100.0	137 44.2	39 12.6	39 12.6	45 14.5
神戸市	310 100.0	100 32.3	15 4.8	25 8.1	37 11.9
奈良県	310 100.0	145 46.8	27 8.7	44 14.2	44 14.2
滋賀県	310 100.0	160 51.6	51 16.5	46 14.8	37 11.9
和歌山県	310 100.0	103 33.2	13 4.2	31 10.0	39 12.6

[比率の差]  
 全体 +10 ポイント  
 全体 +5 ポイント  
 全体 -5 ポイント  
 全体 -10 ポイント

	認知・計	内容まで知っていた	内容は知っているが、名前がなかった	名前がわかったが、内容がわからなかった	名前も内容もわからなかった
全体	3100 100.0	1272 41.0	294 9.5	364 11.7	213 6.9
昨年度全体(参考)	600 100.0	154 25.7	28 4.7	38 6.3	20 3.3
性別					
男性	1550 100.0	570 36.8	119 7.7	138 8.9	199 12.8
女性	1550 100.0	702 45.3	175 11.3	226 14.6	202 13.0
年代					
20代	620 100.0	284 45.8	72 11.6	83 13.4	96 15.5
30代	620 100.0	272 43.9	63 10.2	87 14.0	86 13.9
40代	620 100.0	230 37.1	54 8.7	69 11.1	70 11.3
50代	620 100.0	245 39.5	60 9.7	55 8.9	73 11.8
60代	620 100.0	241 38.9	45 7.3	70 11.3	50 8.1
CM認知					
両方とも見たことがない	489 100.0	132 27.0	28 5.7	30 6.1	44 9.0
ABいずれか認知・計	2611 100.0	1140 43.7	266 10.2	334 12.8	357 13.7
新聞広告認知					
見たことがある	466 100.0	311 66.7	88 18.9	100 21.5	80 17.2
見たことがない	2634 100.0	961 36.5	206 7.8	264 10.0	321 12.2

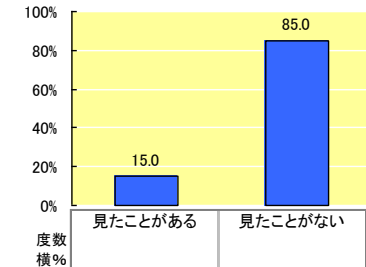
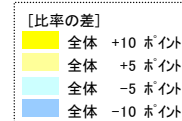
# 9 新聞広告の認知度

単数回答

Q9.この新聞広告を見たことがありますか。

新聞広告の認知率は15%。

- 全体では、新聞広告の認知率は15.0%。
- 属性による違いは見られない。年代が高くなるほど、やや「見たことがある」が増える程度。

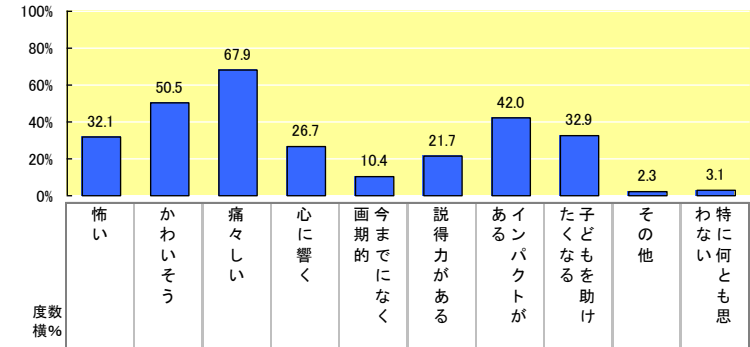
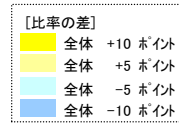
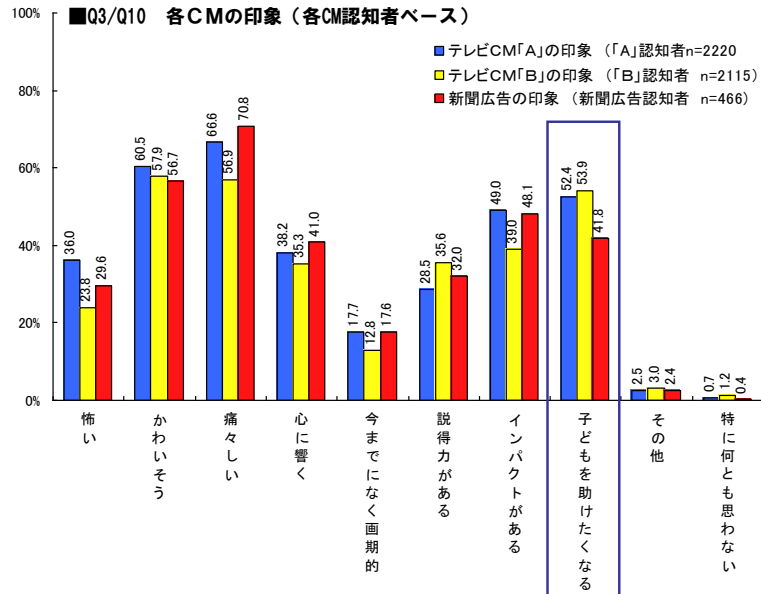


全体		3100	466	2634
		100.0	15.0	85.0
地域	大阪府(大阪市・堺市除く)	310	49	261
		100.0	15.8	84.2
	大阪市	310	53	257
		100.0	17.1	82.9
	堺市	310	47	263
		100.0	15.2	84.8
	京都府(京都市除く)	310	48	262
		100.0	15.5	84.5
	京都市	310	39	271
		100.0	12.6	87.4
兵庫県(神戸市除く)	310	51	259	
		100.0	16.5	83.5
	神戸市	310	42	268
		100.0	13.5	86.5
	奈良県	310	50	260
		100.0	16.1	83.9
滋賀県	310	46	264	
		100.0	14.8	85.2
	和歌山県	310	41	269
	100.0	13.2	86.8	
性別	男性	1550	217	1333
		100.0	14.0	86.0
	女性	1550	249	1301
		100.0	16.1	83.9
年代	20代	620	72	548
		100.0	11.6	88.4
	30代	620	85	535
		100.0	13.7	86.3
	40代	620	102	518
		100.0	16.5	83.5
50代	620	95	525	
		100.0	15.3	84.7
60代	620	112	508	
		100.0	18.1	81.9

Q10.新聞広告の印象について、下記の中からあてはまるものをお選びください。

### 新聞広告も、悲痛なイメージが強く、インパクトを与える表現。

- 全体では、「痛々しい」(67.9%)、「かわいそう」(50.5%)、「インパクトがある」(42.0%)、「子どもを助けたい」(32.9%)が上位に挙がる。テレビCMの印象と同傾向。但し、テレビCMに比べて「子どもを助けたい」は10ポイント程度(各認知者ベース)低い。
- 地域別では、「大阪府(大阪市・堺市除く)の「インパクトがある」がその他地域に比べて10ポイント程度高い。
- 新聞広告認知別では、「見たことがない」層に比べ、「見たことがある」層では、「心に響く」、「説得力がある」が10ポイント以上高い。
- 性別、年代別の傾向は、テレビCMの印象と同傾向。



全体	3100	995	1564	2105	828	321	672	1303	1021	70	96
地域	100.0	32.1	50.5	67.9	26.7	10.4	21.7	42.0	32.9	2.3	3.1
大阪府(大阪市・堺市除く)	310	100	158	208	82	34	67	161	111	3	13
大阪市	100.0	32.3	51.0	67.1	26.5	11.0	21.6	51.9	35.8	1.0	4.2
堺市	310	97	153	208	81	27	70	124	97	6	17
京都府(京都市除く)	100.0	31.3	49.4	67.1	26.1	8.7	22.6	40.0	31.3	1.9	5.5
京都市	310	110	171	216	80	39	72	127	97	7	8
兵庫県(神戸市除く)	100.0	35.5	55.2	69.7	25.8	12.6	23.2	41.0	31.3	2.3	2.6
神戸市	310	100	163	213	90	36	68	129	100	4	9
奈良県	100.0	32.3	52.6	68.7	29.0	11.6	21.9	41.6	32.3	1.3	2.9
和歌山県	310	105	161	217	77	36	69	124	110	10	13
滋賀県	100.0	33.9	51.9	70.0	24.8	11.6	22.3	40.0	35.5	3.2	4.2
性別	310	92	159	209	76	29	60	125	91	3	5
男性	100.0	29.7	51.3	67.4	24.5	9.4	19.4	40.3	29.4	1.0	1.6
女性	310	91	145	205	73	27	57	124	88	6	8
年代	100.0	29.4	46.8	66.1	23.5	8.7	18.4	40.0	28.4	1.9	2.6
20代	310	95	153	212	91	35	76	131	103	8	8
30代	100.0	30.6	49.4	68.4	29.4	11.3	24.5	42.3	33.2	2.6	2.6
40代	310	101	147	207	85	33	58	127	109	17	7
50代	100.0	32.6	47.4	66.8	27.4	10.6	18.7	41.0	35.2	5.5	2.3
60代	310	104	154	210	93	25	75	131	115	6	8
新聞広告認知	100.0	33.5	49.7	67.7	30.0	8.1	24.2	42.3	37.1	1.9	2.6
見たことがある	466	138	264	330	191	82	149	224	195	11	2
見たことがない	100.0	29.6	56.7	70.8	41.0	17.6	32.0	48.1	41.8	2.4	0.4
全体	2634	857	1300	1775	637	239	523	1079	826	59	94
全体	100.0	32.5	49.4	67.4	24.2	9.1	19.9	41.0	31.4	2.2	3.6

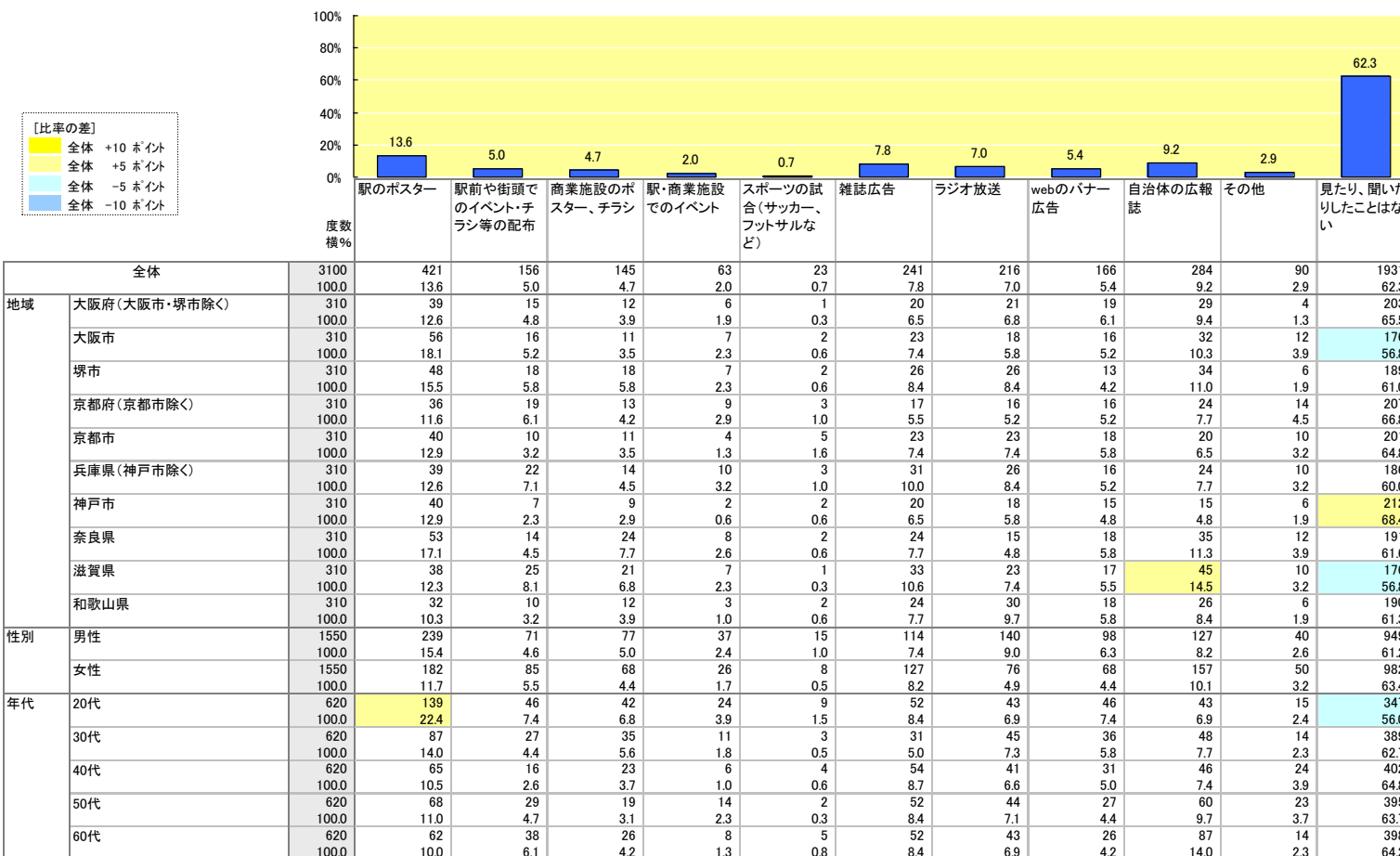
# 11 児童虐待防止キャンペーンを見た／聞いた場所

複数回答

Q11.テレビCMや新聞広告以外で、児童虐待防止のキャンペーン活動を見たり、聞いたりしたことがありますか。

最多は「駅のポスター」(14%)、次いで「自治体の広報誌」(9%)。

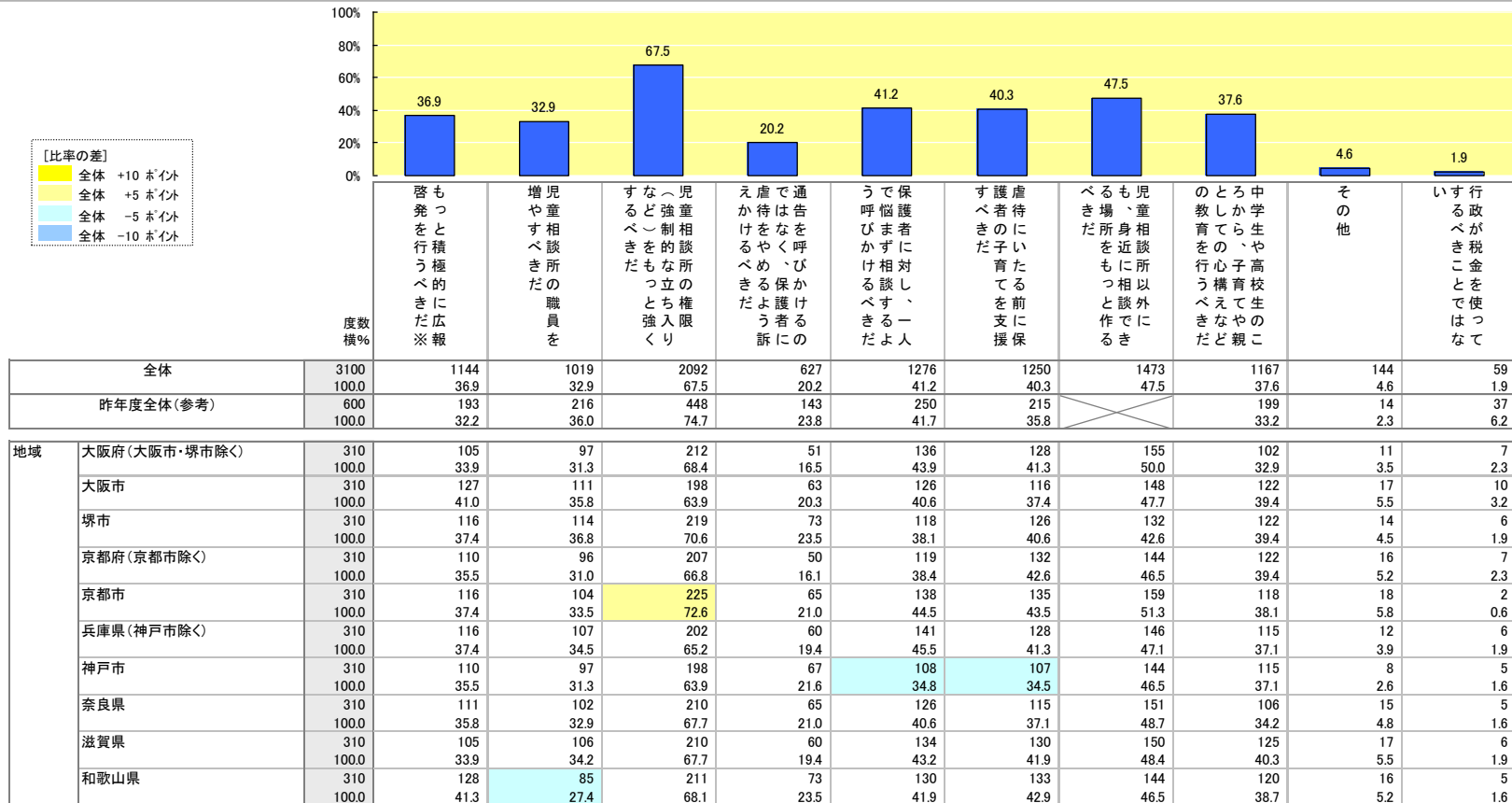
- 全体では、「駅のポスター」(13.6%)が最多、次いで、「自治体の広報誌」(9.2%)と続く。CM、新聞以外からのキャンペーン活動の認知は4割弱にとどまる。その他の自由回答としては、「テレビ番組」、「電車・バス内広告」、「学校・幼稚園・保育園からの配布物」、「役所・公共施設のポスター」などが挙げられた。
- 地域別では、「神戸市」は「見たり、聞いたりしたことはない」(68.4%)が、他の地域に比べて高い。「滋賀県」では、「自治体の広報誌」が14.5%とやや高い。
- 年代別では、「20代」は「駅のポスター」(22.4%)が全体より高いなど、他の年代に比べてテレビ、新聞以外の接触がやや多い傾向。



## Q12.児童虐待防止について、行政としてすべきことはなんでしょうか。

### 児童相談所の権限強化が最多で7割弱。

- 全体では、「児童相談所の権限をもっと強くすべきだ」(67.5%)が最多。次いで、「児童相談所以外にも、身近に相談できる場所をもっと作るべきだ」、「保護者に対し、一人で悩まず相談するよう呼びかけるべきだ」、「虐待にいたる前に保護者の子育てを支援すべきだ」など保護者ケアが続く。その他の自由回答としては、「迅速な子どもの保護」「相談所職員のレベル向上」「虐待に対する罰則強化」「子／親が相談しやすい体制づくり」「子／親への教育」「親への経済的支援」など様々な意見が挙げられた。
- 地域別では、「京都市」では、「児童相談所の権限(強制的な立ち入りなど)をもっと強くすべきだ」がやや高い。



※昨年は「もっと積極的にCMを行う」

今年度と同一選択肢なし

# 12 行政が取り組むべき課題

複数回答

Q12.児童虐待防止について、行政としてすべきことはなんでしょうか。

- 「女性」や「20代」では、「児童相談所以外にも、身近に相談できる場所をもっと作るべきだ」、「保護者に対し、一人で悩まず相談するよう呼びかけるべきだ」、「虐待にいたる前に保護者の子育てを支援すべきだ」など保護者ケアが高い。
- 「乳幼児あり」層では、「虐待にいたる前に保護者の子育てを支援すべきだ」(50.5%)が全体より10ポイント以上高い。

		度数	啓も つと 行積 う極 べき に広 ※報	増 や す す だ の 職 員 を	すな へ る ど 制 的 な 所 の 権 限 入 り	え 虐 か 待 け を な く 呼 び か け る よ う に	う で 保 呼 び か ず に 相 対 し 、 さ る 一 人	す 護 す べ き だ 子 育 て を 前 に 援 保	べ る も 場 、 童 相 談 所 に も と 相 談 を し て く だ さ い	の と ろ 中 学 生 の 心 高 校 生 の 親 を 行 う 構 成 を 増 や す べ き だ	そ の 他	い す 行 政 が 税 金 を 使 っ て は な ら な い
全体		3100 100.0	1144 36.9	1019 32.9	2092 67.5	627 20.2	1276 41.2	1250 40.3	1473 47.5	1167 37.6	144 4.6	59 1.9
昨年度全体(参考)		600 100.0	193 32.2	216 36.0	448 74.7	143 23.8	250 41.7	215 35.8		199 33.2	14 2.3	37 6.2
性別	男性	1550 100.0	614 39.6	491 31.7	991 63.9	283 18.3	555 35.8	529 34.1	596 38.5	562 36.3	84 5.4	46 3.0
	女性	1550 100.0	530 34.2	528 34.1	1101 71.0	344 22.2	721 46.5	721 46.5	877 56.6	605 39.0	60 3.9	13 0.8
年代	20代	620 100.0	245 39.5	197 31.8	361 58.2	130 21.0	296 47.7	305 49.2	290 46.8	209 33.7	21 3.4	18 2.9
	30代	620 100.0	210 33.9	241 38.9	430 69.4	124 20.0	257 41.5	261 42.1	291 46.9	221 35.6	27 4.4	12 1.9
	40代	620 100.0	240 38.7	210 33.9	440 71.0	131 21.1	228 36.8	245 39.5	297 47.9	220 35.5	31 5.0	12 1.9
	50代	620 100.0	218 35.2	187 30.2	432 69.7	109 17.6	244 39.4	207 33.4	309 49.8	257 41.5	32 5.2	12 1.9
	60代	620 100.0	231 37.3	184 29.7	429 69.2	133 21.5	251 40.5	232 37.4	286 46.1	260 41.9	33 5.3	5 0.8
	同居子の 学齢	乳幼児あり	410 100.0	143 34.9	159 38.8	282 68.8	81 19.8	186 45.4	207 50.5	204 49.8	145 35.4	14 3.4
小中学生あり		472 100.0	175 37.1	172 36.4	337 71.4	92 19.5	190 40.3	210 44.5	237 50.2	186 39.4	16 3.4	5 1.1
高校生以上あり		732 100.0	267 36.5	231 31.6	532 72.7	131 17.9	277 37.8	260 35.5	349 47.7	283 38.7	35 4.8	8 1.1
子なし		1734 100.0	644 37.1	550 31.7	1130 65.2	370 21.3	721 41.6	690 39.8	806 46.5	649 37.4	87 5.0	40 2.3
CM認知		489 100.0	165 33.7	130 26.6	267 54.6	87 17.8	160 32.7	154 31.5	184 37.6	192 39.3	21 4.3	27 5.5
ABいずれか認知・計		2611 100.0	979 37.5	889 34.0	1825 69.9	540 20.7	1116 42.7	1096 42.0	1289 49.4	975 37.3	123 4.7	32 1.2



※昨年は「もっと積極的にCMを行う」

今年度と同一選択肢なし

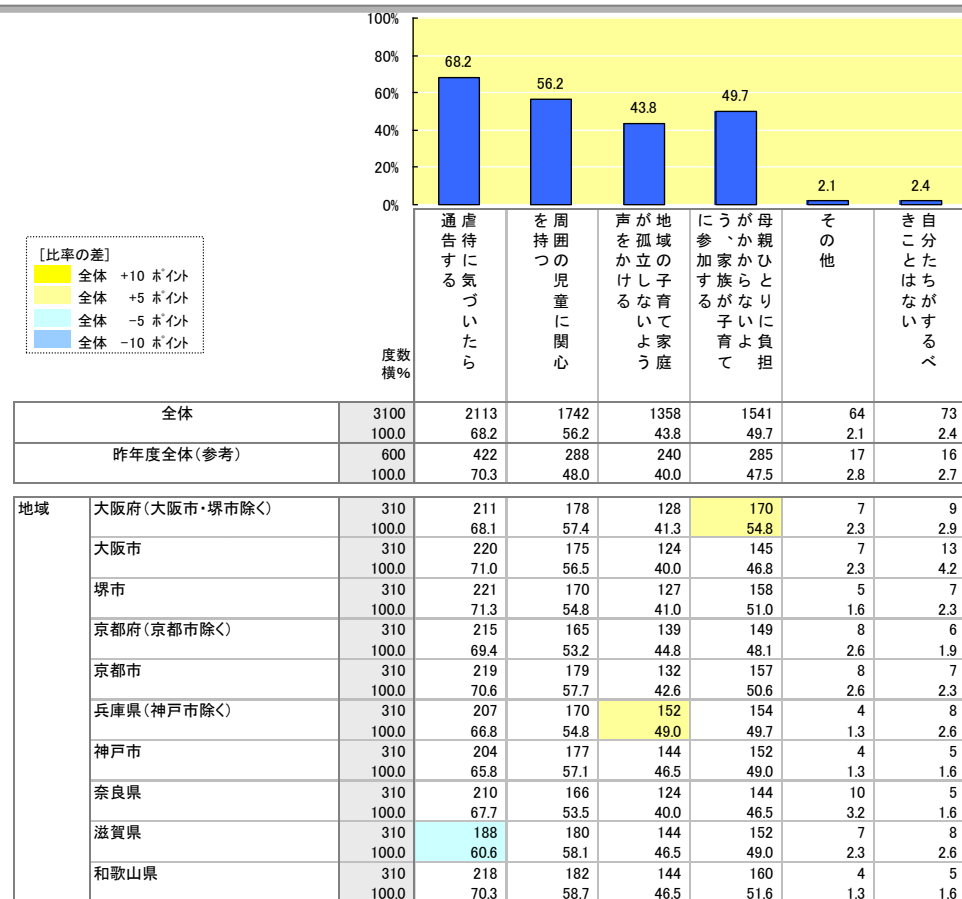
# 13 自分たちが取り組むべき課題

複数回答

Q13.児童虐待防止について、自分達ができるべきことはなんでしょうか。

「虐待に気づいたら通告する」が最多で7割弱。

- 全体では、「虐待に気づいたら通告する」(68.2%)が最多、「周囲の児童に関心を持つ」(56.2%)が続く。昨年と比べて「周囲の児童に関心を持つ」が上昇。その他の自由回答としては、「近隣・周囲の子どもに興味・関心を持つ」「地域とのコミュニケーション」などが挙げられた。
- 地域別では、「滋賀県」では、「虐待に気づいたら通告する」が全体に比べて低い。
- 性別、年代別、同居子の学齢別では、女性、若い層、小さい子どもがいる層は、家族や地域で子育てをサポートすべきとの意識が高い。
- CM非認知層でも「自分たちがすべきことはない」が6.1%と、Q5で「特に(意識・行動)変化はない」(23.9%)より著しく低下しており、調査過程における意識啓発効果が見られ、今後も啓発活動を継続すべきと思われる。



	度数	度数横%	通告するに気づいたら	周囲の児童に関心を持つ	地域の声をかける子育て家庭	母親が家族に子育て負担をかける	その他	自分たちがすべきではない
全体	3100	100.0	2113	1742	1358	1541	64	73
昨年度全体(参考)	600	100.0	422	288	240	285	17	16
			70.3	48.0	40.0	47.5	2.8	2.7
性別	男性	1550	1044	796	611	649	40	57
		100.0	67.4	51.4	39.4	41.9	2.6	3.7
	女性	1550	1069	946	747	892	24	16
		100.0	69.0	61.0	48.2	57.5	1.5	1.0
年代	20代	620	425	334	282	367	5	18
		100.0	68.5	53.9	45.5	59.2	0.8	2.9
	30代	620	425	353	274	347	12	15
		100.0	68.5	56.9	44.2	56.0	1.9	2.4
	40代	620	429	351	242	291	10	15
		100.0	69.2	56.6	39.0	46.9	1.6	2.4
	50代	620	427	343	272	257	19	12
		100.0	68.9	55.3	43.9	41.5	3.1	1.9
	60代	620	407	361	288	279	18	13
		100.0	65.6	58.2	46.5	45.0	2.9	2.1
同居子の学齢	乳幼児あり	410	277	250	216	276	5	1
		100.0	67.6	61.0	52.7	67.3	1.2	0.2
	小中学生あり	472	312	294	237	261	11	5
		100.0	66.1	62.3	50.2	55.3	2.3	1.1
	高校生以上あり	732	505	418	332	333	20	11
		100.0	69.0	57.1	45.4	45.5	2.7	1.5
	子なし	1734	1190	934	704	819	33	56
		100.0	68.6	53.9	40.6	47.2	1.9	3.2
CM認知	両方とも見たことがない	489	309	235	189	190	11	30
		100.0	63.2	48.1	38.7	38.9	2.2	6.1
	ABいずれか認知・計	2611	1804	1507	1169	1351	53	43
		100.0	69.1	57.7	44.8	51.7	2.0	1.6

Q14.児童虐待を受けていると思われる児童を見つけた人は、通告することが義務づけられていますが、そのことをご存知でしたか。

義務であることを知っているのは、3割弱にとどまる。近隣との関わりが高い層では4割弱が認知。

- 全体では、「義務であることを知っていた」が29.3%にとどまり、依然7割程度が義務であることを知らない。
- 近隣との関わり方別では、「行き来したり一緒にどこかに遊びに行ったりする」、「自治会の会合に出席する」、「地域のイベントに参加する」といった地域との結びつきが強い層は、「義務であることを知っていた」が4割弱と高い。



		度数	義務であることを知っていた	義務であることを知らなかった
全体		3100	907	2193
昨年度全体(参考)		600	157	443
		100.0	26.2	73.8
年代	20代	620	170	450
		100.0	27.4	72.6
	30代	620	162	458
		100.0	26.1	73.9
	40代	620	181	439
		100.0	29.2	70.8
同居子の学齢	50代	620	192	428
		100.0	31.0	69.0
	60代	620	202	418
		100.0	32.6	67.4
	乳幼児あり	410	116	294
		100.0	28.3	71.7
近隣との関わり方	小中学生あり	472	150	322
		100.0	31.8	68.2
	高校生以上あり	732	224	508
		100.0	30.6	69.4
	子なし	1734	487	1247
		100.0	28.1	71.9
挨拶する	挨拶する	2541	781	1760
		100.0	30.7	69.3
	行き来をしたり一緒にどこかに遊びに行ったりする	606	236	370
		100.0	38.9	61.1
	自治会の会合に出席する	868	324	544
		100.0	37.3	62.7
地域のイベントに参加する	地域のイベントに参加する	844	316	528
		100.0	37.4	62.6
	いずれも行っていない	519	115	404
		100.0	22.2	77.8
CM認知	両方とも見たことがない	489	124	365
		100.0	25.4	74.6
	ABいずれか認知・計	2611	783	1828
	100.0	30.0	70.0	



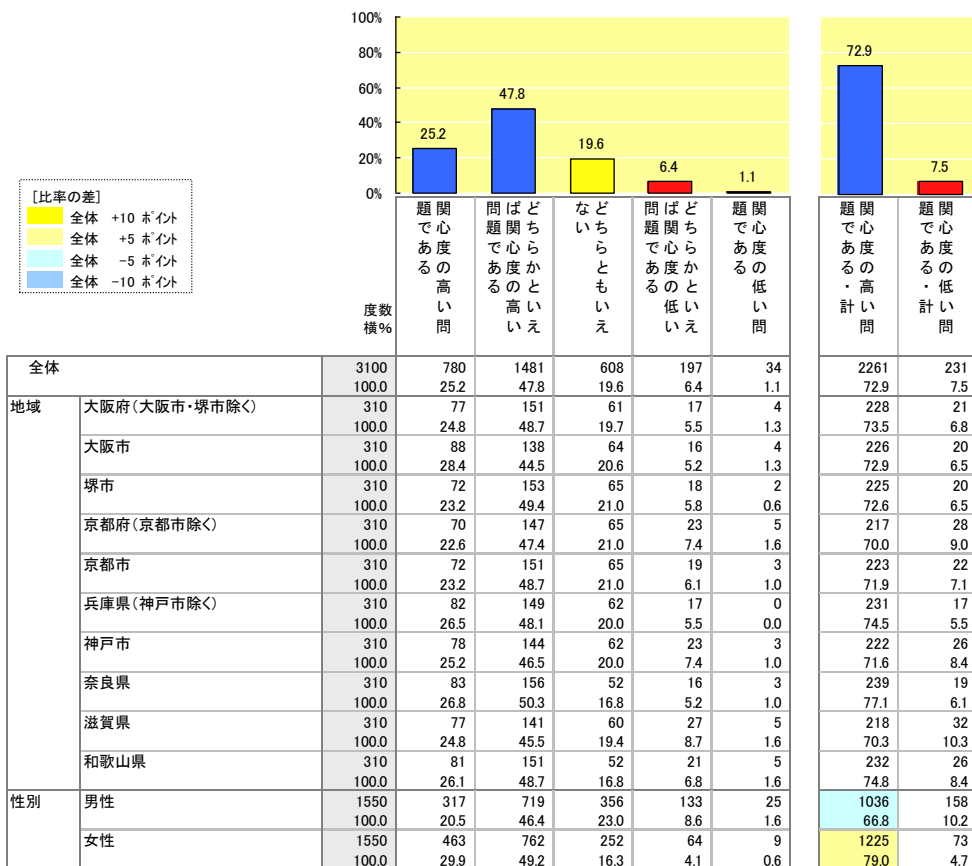
# 15 児童虐待に関する関心度

単数回答

Q15.あなたにとって、児童虐待とはどの程度関心度の高い問題ですか。

7割強が関心度の高い問題として捉えている。

- 全体では、「関心度の高い問題である・計(以下関心度・計)」は、72.9%に達し、児童虐待は、広く共通した課題といえる。
- 性別、同居子の学齢別、近隣との関わり方で別では、女性や小さい子どもがいる層、地域との結びつきが強い層は、より高い関心度を示す。
- CM認知別では、認知層は、非認知層に比べ、関心度・計が20ポイント程度高い。CMが関心を喚起したとも考えられる。

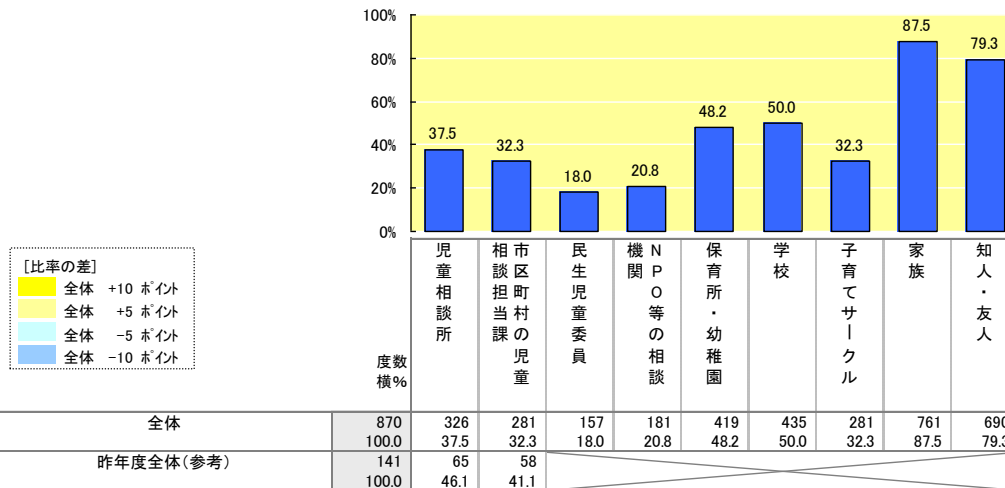


項目	度数	横%	関心度の高い問題					関心度の低い問題						
			全体	+10ポイント	+5ポイント	-5ポイント	-10ポイント	計	計					
全体	3100	100.0	780	25.2	1481	47.8	608	19.6	34	1.1	2261	72.9	231	7.5
年代	20代	620	152	24.5	321	51.8	93	15.0	47	7.6	473	76.3	54	8.7
年代	30代	620	173	27.9	285	46.0	120	19.4	33	5.3	458	73.9	42	6.8
年代	40代	620	147	23.7	285	46.0	138	22.3	40	6.5	432	69.7	50	8.1
年代	50代	620	141	22.7	299	48.2	142	22.9	34	5.5	440	71.0	38	6.1
年代	60代	620	167	26.9	291	46.9	115	18.5	43	6.9	458	73.9	47	7.6
同居子の学齢	乳幼児あり	410	162	39.5	199	48.5	41	10.0	8	2.0	361	88.0	8	2.0
同居子の学齢	小中学生あり	472	139	29.4	238	50.4	74	15.7	19	4.0	377	79.9	21	4.4
同居子の学齢	高校生以上あり	732	180	24.6	357	48.8	144	19.7	47	6.4	537	73.4	51	7.0
同居子の学齢	子なし	1734	373	21.5	816	47.1	382	22.0	135	7.8	1189	68.6	163	9.4
近隣との関わり方	挨拶する	2541	693	27.3	1263	49.7	436	17.2	137	5.4	1956	77.0	149	5.9
近隣との関わり方	行き来をしたり一緒にどこかに遊びに行ったりする	606	222	36.6	301	49.7	72	11.9	10	1.7	523	86.3	11	1.8
近隣との関わり方	自治会の会合に出席する	868	280	32.3	424	48.8	130	15.0	33	3.8	704	81.1	34	3.9
近隣との関わり方	地域のイベントに参加する	844	305	36.1	413	48.9	96	11.4	29	3.4	718	85.1	30	3.6
近隣との関わり方	いずれも行っていない	519	78	15.0	197	38.0	164	31.6	58	11.2	275	53.0	80	15.4
CM認知	両方とも見たことがない	489	87	17.8	187	38.2	152	31.1	45	9.2	274	56.0	63	12.9
CM認知	ABいずれか認知・計	2611	693	26.5	1294	49.6	456	17.5	152	5.8	1987	76.1	168	6.4

Q18.子育てについて悩みが生じた場合に、以下のような公的機関や民間機関に相談してみたいと思いますか。また、家族や知人・友人等、身近な人に相談しようと思いますか。

### 相談は身近な人へ。公的・民間相談機関は4割未満。

- 全体では、「家族」が87.5%で最多。次いで「知人・友人」が79.3%と続き、身近な人が上位に挙がる。
- 機関としては、「学校」、「保育所・幼稚園」が上位(各5割程度)で、「児童相談所」など公的、民間の児童相談機関への意向は4割未満である。
- 地域別に見ると、「和歌山県」、「大阪府(大阪市・堺市除く)」、「大阪市」、「堺市」では、相談機関の利用意向が高い傾向。
- 一方、「京都府(京都市除く)」、「京都市」、「神戸市」は低い。



地域	度数	児童相談所	相談担当村の児童委員	民生児童委員	NPO等の相談機関	保育所・幼稚園	学校	子育てサークル	家族	知人・友人
大阪府(大阪市・堺市除く)	91	40	32	19	21	43	49	28	85	72
	100.0	44.0	35.2	20.9	23.1	47.3	53.8	30.8	93.4	79.1
大阪市	86	38	28	13	24	44	40	28	73	71
	100.0	44.2	32.6	15.1	27.9	51.2	46.5	32.6	84.9	82.6
堺市	77	31	30	18	14	40	43	27	66	57
	100.0	40.3	39.0	23.4	18.2	51.9	55.8	35.1	85.7	74.0
京都府(京都市除く)	100	32	29	16	20	52	58	32	86	76
	100.0	32.0	29.0	16.0	20.0	52.0	58.0	32.0	86.0	76.0
京都市	71	20	18	10	14	36	33	23	59	55
	100.0	28.2	25.4	14.1	19.7	50.7	46.5	32.4	83.1	77.5
兵庫県(神戸市除く)	94	35	29	18	19	48	49	28	81	72
	100.0	37.2	30.9	19.1	20.2	51.1	52.1	29.8	86.2	76.6
神戸市	91	28	25	14	15	40	41	26	81	77
	100.0	30.8	27.5	15.4	16.5	44.0	45.1	28.6	89.0	84.6
奈良県	83	28	28	14	16	35	34	28	76	66
	100.0	33.7	33.7	16.9	19.3	42.2	41.0	33.7	91.6	79.5
滋賀県	88	30	33	13	16	40	42	31	75	70
	100.0	34.1	37.5	14.8	18.2	45.5	47.7	35.2	85.2	79.5
和歌山県	89	44	29	22	22	41	46	30	79	74
	100.0	49.4	32.6	24.7	24.7	46.1	51.7	33.7	88.8	83.1

※数値は、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計値。

Q18.子育てについて悩みが生じた場合に、以下のような公的機関や民間機関に相談してみたいと思いますか。また、家族や知人・友人等、身近な人に相談しようと思いますか。


- 性別では、女性は「家族」「知人・友人」「子育てサークル」など身近な人への意向が高い。「児童相談所」「民生児童委員」など公的機関へは、女性よりも男性の方が意向は高い。
- 年代別では、20代は全般的に相談意向が高い。
- 同居子の学齢別では、「乳幼児あり」層では、身近な人への相談意向が高い。
- 近隣との関わり方別では、「いずれも行っていない」という近隣との関係が疎遠な層は、各機関、身近な人への相談意向も低い傾向。

【高校生又は18歳以下の子供がいる人ベース】

		児童相談所	市区町村課の児童	民生児童委員	NPO等の相談	保育所・幼稚園	学校	子育てサークル	家族	知人・友人	
n = 30 以上の場合		[比率の差]									
		全体 +10 ポイント									
		全体 +5 ポイント									
		全体 -5 ポイント									
		全体 -10 ポイント									
全体		870 100.0	326 37.5	281 32.3	157 18.0	181 20.8	419 48.2	435 50.0	281 32.3	761 87.5	690 79.3
昨年度全体(参考)		141 100.0	65 46.1	58 41.1							
性別	男性	414 100.0	175 42.3	144 34.8	93 22.5	78 18.8	178 43.0	200 48.3	105 25.4	338 81.6	294 71.0
	女性	456 100.0	151 33.1	137 30.0	64 14.0	103 22.6	241 52.9	235 51.5	176 38.6	423 92.8	396 86.8
年代	20代	92 100.0	34 37.0	37 40.2	23 25.0	22 23.9	52 56.5	38 41.3	50 54.3	86 93.5	77 83.7
	30代	296 100.0	104 35.1	87 29.4	43 14.5	54 18.2	168 56.8	141 47.6	99 33.4	271 91.6	254 85.8
	40代	336 100.0	131 39.0	113 33.6	62 18.5	78 23.2	152 45.2	197 58.6	98 29.2	288 85.7	265 78.9
	50代	129 100.0	49 38.0	36 27.9	25 19.4	22 17.1	41 31.8	54 41.9	28 21.7	106 82.2	84 65.1
	60代	17 100.0	8 47.1	8 47.1	4 23.5	5 29.4	6 35.3	5 29.4	6 35.3	10 58.8	10 58.8
同居子の学齢	乳幼児あり	410 100.0	152 37.1	144 35.1	84 20.5	84 20.5	253 61.7	200 48.8	169 41.2	372 90.7	346 84.4
	小中学生あり	472 100.0	171 36.2	136 28.8	83 17.6	98 20.8	217 46.0	273 57.8	125 26.5	411 87.1	374 79.2
	高校生以上あり	236 100.0	89 37.7	71 30.1	40 16.9	55 23.3	88 37.3	112 47.5	62 26.3	192 81.4	170 72.0
近隣との関わり方	挨拶する	800 100.0	306 38.3	263 32.9	145 18.1	171 21.4	395 49.4	414 51.8	256 32.0	705 88.1	644 80.5
	行き来をしたり一緒にどこかに遊びに行ったりする	286 100.0	113 39.5	104 36.4	61 21.3	63 22.0	159 55.6	160 55.9	118 41.3	260 90.9	249 87.1
	自治会の会合に出席する	307 100.0	139 45.3	119 38.8	62 20.2	75 24.4	163 53.1	165 53.7	108 35.2	269 87.6	250 81.4
	地域のイベントに参加する	373 100.0	157 42.1	137 36.7	81 21.7	91 24.4	204 54.7	211 56.6	141 37.8	328 87.9	308 82.6
	いずれも行っていない	55 100.0	18 32.7	16 29.1	11 20.0	10 18.2	18 32.7	14 25.5	22 40.0	44 80.0	36 65.5

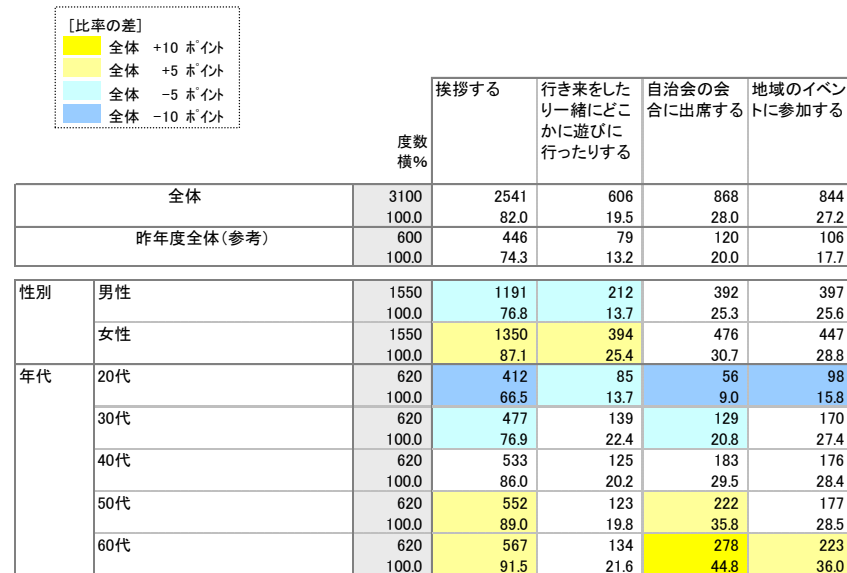
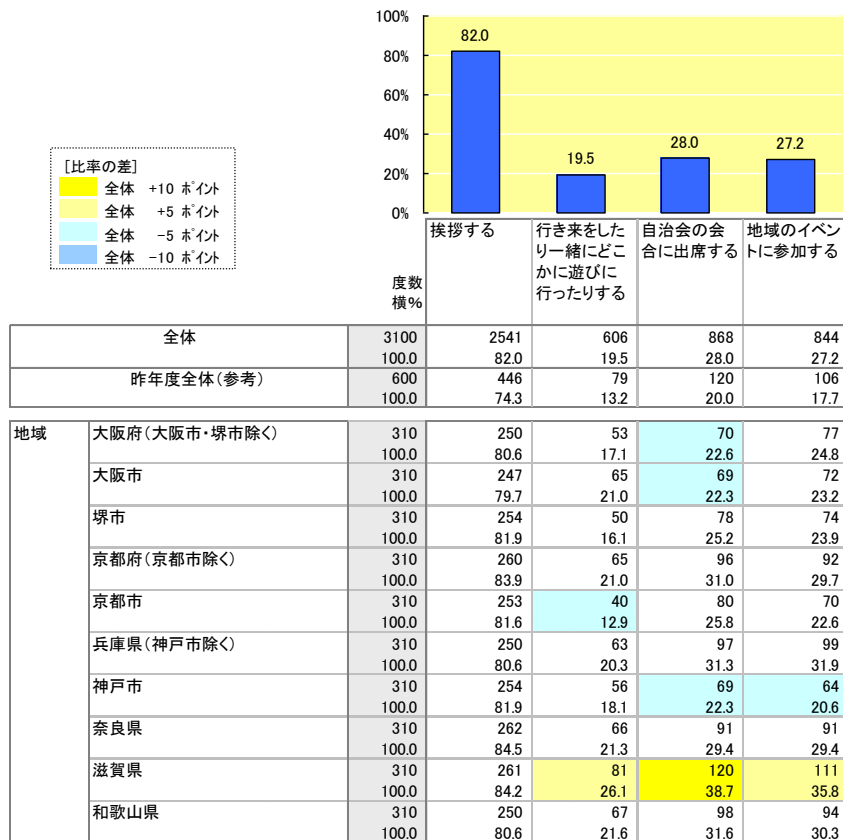
※数値は、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計値。

※n数30未満のものは参考値。

 今年度と同一選択肢なし

Q19.近隣の方との関わり方に関する下記の項目について、あなたはどの程度行っていますか。

- 全体では、「挨拶する」が82.0%で最多。次いで「自治会の会合に参加する」、「地域のイベントに参加する」が各3割弱。
- 地域別では、「滋賀県」の「自治会の会合に参加する」(38.7%)、「地域のイベントに参加する」(35.8%)、「行き来をしたり一緒にどこかに遊びに行ったりする」(26.1%)がその他の地域に比べて高く、近隣との結びつきが強いことがうかがえる。一方、「神戸市」は地域活動の参加がやや低い傾向。
- 性別、年代別では、「男性」や若い年代で近隣との結びつきが弱いことがうかがえる。



※数値は、「積極的にやっている」、「どちらかといえば積極的にやっている」の合計値。



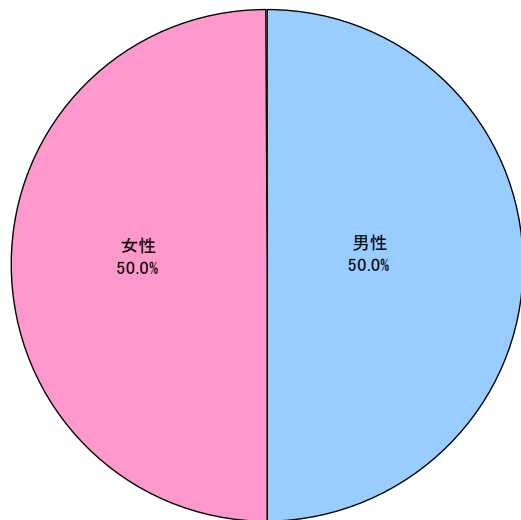
# 回答者のプロフィール



# 回答者のプロフィール

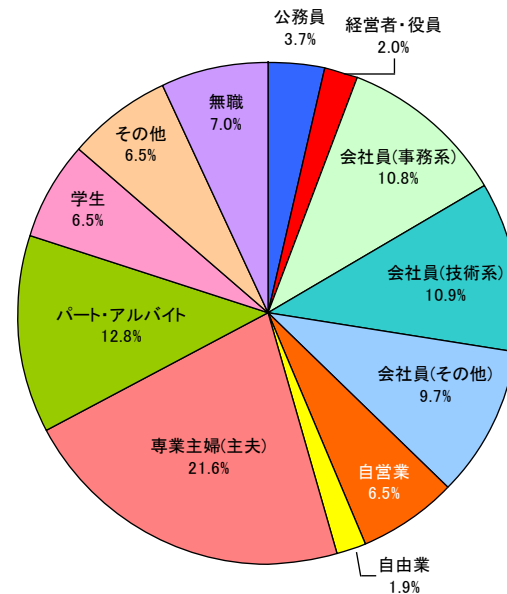
## 性別

n=3100(SA)



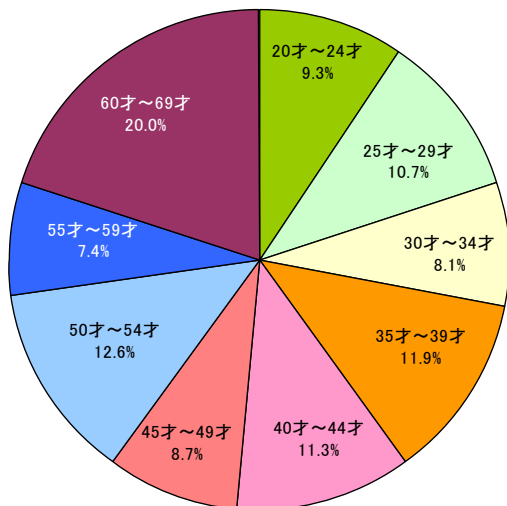
## 職業

n=3100(SA)



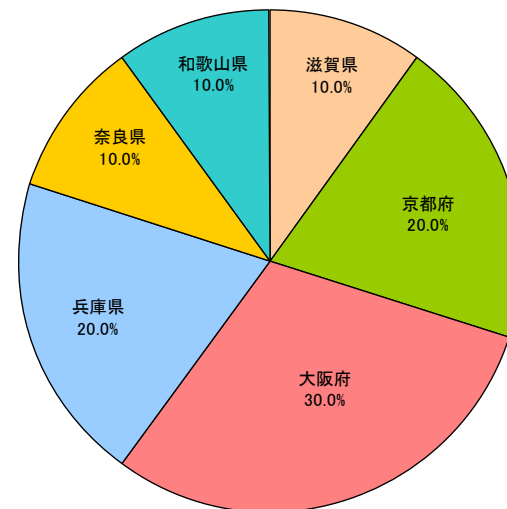
## 年齢

n=3100(SA)



## 居住地

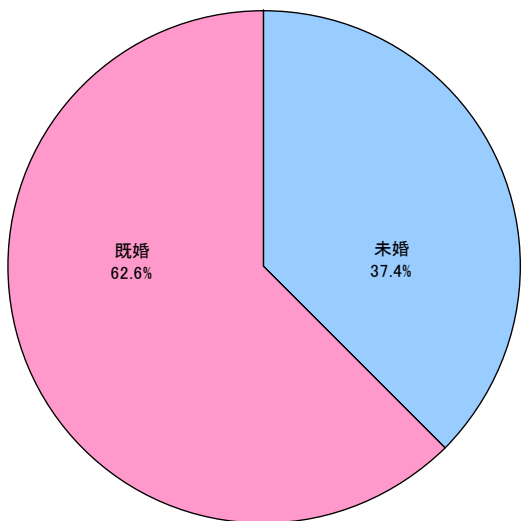
n=3100(SA)



# 回答者のプロフィール

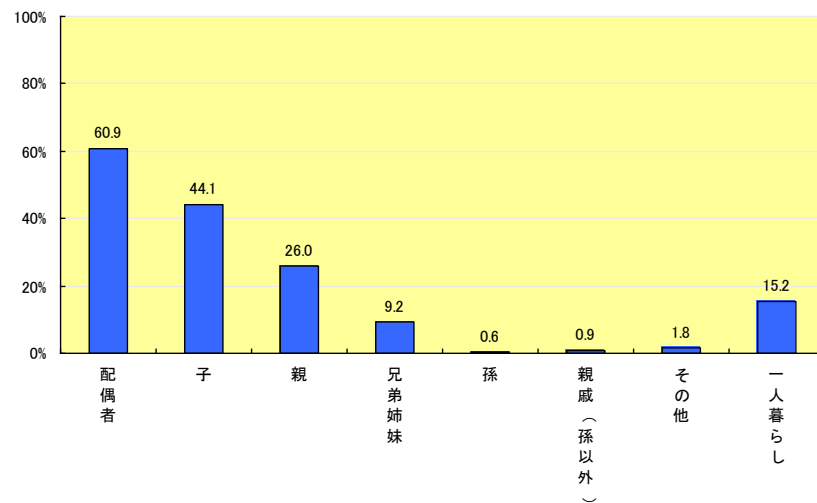
## 未既婚

n=3100(SA)



## 同居家族

n=3100(MA)



## 同居子の年齢

n=1366(MA) 子ども同居者ベース

